

泉区子育てに関するアンケート調査

報告書

令和7年10月

泉区こども家庭支援課

目次

I. 調査の概要	1
II. 結果の概要	2
III. 調査結果	5
<属性>	5
<回答結果>	11
1 子育てしやすいまちに関する意識について	
(1) 泉区が「子育てしやすいまち」だと感じますか.....	11
(2) 「子育てしやすいまち」になるためには何があるといいと思いますか.....	12
(3) 「子育て応援マーク」を知っていますか.....	13
(4) 「子育て応援マーク」を身に着けていますか.....	13
(5) 「子育て応援サポーター」を知っていますか.....	14
2 地域の子育て支援の利用状況について	
(1) 「地域子育て支援拠点すきっぷ」を利用したことがありますか.....	15
(2) 地域の子育て拠点すきっぷを利用したことがない理由は何ですか.....	16
(3) 「地域子育て支援拠点すきっぷ」が発信する子育て情報の中で、最も利用しているものは何ですか	17
(4) 子育てに関する情報を得るのに、最も利用するものは何ですか.....	18
(5) 地域の子育て情報で、最も知りたいものは何ですか.....	19
(6) 子育てに関するイベントや教室など、利用したことがあるものをお答えください	20
3 家族や近所の方とのお付き合いについて	
(1) 家族や親戚と気軽に話ができますか.....	21
(2) 家族や親戚の中で、誰が一番気軽に話せますか.....	22
(3) 近所の方とどの程度の付き合いをしてていますか.....	23
4 子育てを通して感じていることについて	
(1) 子育てについての感じ方について、あなたの現状に最も近いと思うものはどれですか	24
(2) あなたがイライラする一番の原因は何ですか.....	26
5 子育てに関する悩みについて	
(1) 子育てで悩んでいることは何ですか.....	27

6 あなた自身の生活習慣や健康について

- | | |
|---|----|
| (1) 週 2 日以上かつ 1 日 30 分以上の運動習慣がありますか..... | 28 |
| (2) 週 5 日以上朝食を食べますか | |
| (3) 間食および夜食の習慣がありますか | |
| (4) 7 時間以上の睡眠をとりますか | |
| (5) 喫煙習慣はありますか | |
| (6) 飲酒はほとんどしない、または適正な飲酒をしていますか | |
| (7) B M I (体格を示す指標) が 18.5 以上から 25 未満ですか..... | 30 |
| (8) あなたは過去 1 年間に健康診断は受けていますか..... | 30 |
| (9) 普段、自分を健康だと思いますか | 30 |

7 あなたの妊娠中のことについて

- | | |
|----------------------------|----|
| (1) 妊娠中診断を受けた病気はありますか..... | 31 |
| (2) 診断名を教えてください | |

8 あなた自身のストレス対処法について

- | | |
|-----------------------------------|----|
| 気持ちが落ち込んだときの行動や考えについて..... | 32 |
| (1) ストレスの原因を調べて解決しようとする | |
| (2) 信頼できる人に解決策を相談する | |
| (3) 趣味や娯楽で気をまぎらわす | |
| (4) いつか事態が変わるだろうと思ってつらい時が過ぎ去るのを待つ | |
| (5) その出来事のよい面だけを考える | |
| (6) どうしていいかわからないので何もしないでがまんする | |

9 育児中のあなた自身について

- | | |
|----------------------------------|----|
| (1) 子育てに困ったことがあっても何とかなると思う | 34 |
| (2) 自分の感情をコントロールできる | |
| (3) 自分の気持ちをストレートに表現できる | |
| (4) 子育ての喜びを身近な人に伝えることができる | |
| (5) 自分の子育てを周囲は認めてくれている | |
| (6) 子育てで困ったことがあれば人に頼ることができる | |
| (7) 子育てで周囲の人に助言を求めることができる | |
| (8) 子育てで私でなければできないことがあると思う | |
| (9) 人に気軽に声をかけることができる | |
| (10) 子育て中の仲間を作ることができる | |
| (11) 子育て以外の時間がある | |
| (12) 子育てを続けていく自信がない | |
| (13) 自分なりの育児イメージがある | |

10 あなたの人付き合いについて

- (1) 自分には人との付き合いがないと感じることはありますか..... 38
- (2) 自分は取り残されていると感じることがありますか
- (3) 自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか

11 あなたの周りの方々との関係について

- (1) 少なくとも月1回、会ったり話したりする人は何人いますか 40
- (2) あなたが、個人的なことで話すことができるくらい気軽に感じられる人は何人いますか
- (3) あなたが、助けをもとめることができるくらい親しく感じられる人は何人いますか
 - ①親族(自分の親やきょうだい、配偶者・パートナーの親やきょうだい等)
 - ②友人(子ども時代の友人、学生時代の友人、仕事や趣味を通じての友人等)

12 配偶者またはパートナーとのコミュニケーションについて

- (1) あなたの話に耳を傾け、親身に聞いてくれる 42
- (2) 1日の子どもの様子をあなたに聞いてくれる
- (3) あなたの気持ちに気づいてくれる
- (4) 子どもの成長・発達をあなたとともに喜んでくれる
- (5) あなたの育児やあなたのことを見てくれる
- (6) あなたの持つ育児に関しての心配事や悩みの相談にのってくれる
- (7) あなたの持つ育児以外の心配事や悩みの相談にのってくれる
- (8) 育児についての方針と一緒に考えてくれる
- (9) 励ましの言葉をかけてくれる
- (10) 育児の苦労を気にかけてくれる
- (11) 育児上のストレスを発散できるように配慮してくれる
- (12) 信頼してくれる
- (13) 配偶者またはパートナーと二人で笑うことがある
- (14) 会話時間を多く持ってくれる

IV. 調査票-----

44

I. 調査の概要

1 調査の目的

横浜市泉区で0～3歳児を育児している方の育児に関する意識を把握し、今後の施策の参考とする。

2 調査方法

(1) 調査対象

泉区内に居住する区民 1,000 人～2,000 人

調査A 子育てを中心的に担っている方

調査B 子育てをサポートしているパートナーの方

(2) 実施期間

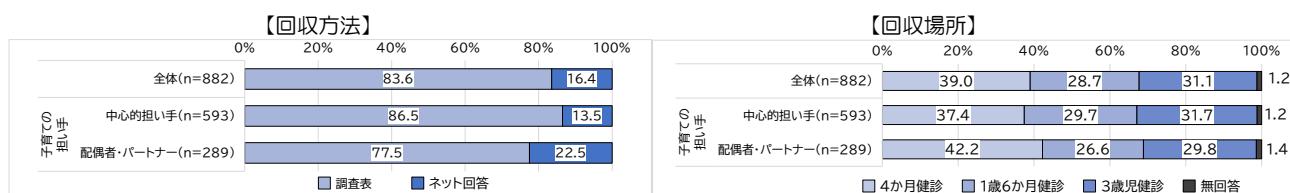
令和6年5月1日（水）～令和6年9月30日（月）

(3) 配付方法

令和6年6月～9月乳幼児健診の案内通知と一緒に調査票を送付

(4) 回収方法

乳幼児健診受診日に用紙を回収、または、横浜市電子申請システムにて Web 回答



(5) 回答総数

調査A（子育てを中心的に担っている方） 593人

調査B（子育てをサポートしているパートナーの方） 289人

3 報告書の見方

- ① 図（グラフ）の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数をあらわす。
- ② 回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合がある。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ③ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ④ 令和元年度調査との経年比較について、今回調査と設問の仕方や選択肢が異なる場合、（参考）としてグラフのみ掲載している。

※概要数値の見方

数値はそれぞれ割合(%)を表示。基数の記述があるもの以外は有効回収数を基本としている (n=882)。

II. 結果の概要

1 子育てしやすいまちに関する意識について

(1) 泉区が子育てしやすいまちだと感じるか

『そう思う』（そう思う+どちらかというとそう思う）」が 84.4%、『そう思わない』（「どちらかというとそう思わない」+「そう思わない」）」が 14.3%

(2) 子育てしやすいまちになるために必要なもの

「子どもを遊ばせる場がある」が最も多く 39.9%、次いで「子どもを預けられる場がある」が 15.4%

(3) 「子育て応援マーク」の認知度

「はい」 56.5%、「いいえ」が 42.9%

(4) 「子育て応援マーク」を知っている方 「子育て応援マーク」を身に着けているか

「はい」 11.6%、「いいえ」が 88.4%

(5) 「子育て応援センター」の認知度

「はい」 24.5%、「いいえ」が 74.8%

2 地域の子育て支援の利用状況について

(1) 地域の子育て拠点すきっぷの利用状況

「ある」 47.8%、「ない」が 51.2%

(2) 「地域の子育て拠点すきっぷ」を利用していない方 利用したことがない理由

「施設の内容や利用方法がわからない」が最も多く 46.2%、次いで「交通の便がよくない」が 27.2%、「保育所や幼稚園などに通っている」が 24.8%

(3) 「地域子育て支援拠点すきっぷ」が発信する子育て情報の中で、最も利用しているもの

「利用していない」が約 6 割であるが、「ホームページ（Web サイト）」が最も多く 15.9%、「LINE」、「すきっぷ通信」、「Instagram」が 1 割弱

(4) 子育てに関する情報を得るのに、最も利用するもの

「SNS（YouTube、Instagram、X(旧 Twitter)など）」が最も多く 45.4%、次いで「ホームページ（Web サイト）」36.4%

(5) 地域の子育て情報で、最も知りたいもの

「親子で行ける場所」が 51.8%、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園」が 16.7%、「イベントや講座」が 15.2%

(6) 子育てに関するイベントや教室など、利用したことがあるもの

「利用していない」が約 4 割であるが、「赤ちゃん教室」が最も多く 33.3%、次いで「地域の子育てサロン」30.2%

3 家族・友人・近所の方とのお付き合いについて

(1) 家族や親戚と気軽に話ができるか

「はい」 97.3%、「いいえ」が 1.8%

(2) 家族や親戚と気軽に話ができる方 家族や親戚の中で、誰が一番気軽に話せるか

「配偶者（パートナー）」が75.6%、次いで「自分の父または母」が14.3%

(3) 近所の方との付き合い方

「あいさつをする程度」が最も多く56.2%、次いで「あいさつ以外にも多少の付き合いがある」が25.2%、「付き合いはほとんどない」10.5%、「親しく付き合っている」7.3%

4 子育てを通して感じていることについて

(1) 子育てについての感じ方

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、「子育てを通して家族間の会話が増えた」が91.1%で最も高く、次いで「子育ては想像していたより大変」89.2%、「子育てする中でイライラしてしまう」70.6%、「子育てを通して友人が増えた」49.2%の順

(2) 子育てする中でイライラしてしまう方 子育てする中でイライラしてしまう一番の原因

「子どもが言うことを聞かない」が23.0%で最も高く、次いで「配偶者（パートナー）のこと」17.0%、「自分の時間がとれない」13.5%の順

5 子育てに関する悩みについて

「しつけ（ほめ方や叱り方）」が46.3%で最も高く、次いで「仕事と育児の両立」34.7%、「病気や発達のこと」33.2%、「食に関すること」31.4%の順

6 自身の生活習慣や健康について

(1)～(6) 自身の生活習慣について

9割弱が「喫煙習慣がない」、7割以上が「週5日以上朝食を食べる」、「適正な飲酒をしている」、「運動習慣がある」と回答している一方、5割以上が「間食および夜食の習慣がある」、「7時間以上の睡眠をとっていない」と回答

(7) BMI（体格を示す指標）が18.5以上から25未満か

「はい」が71.5%、「いいえ」が24.0%

(8) 過去1年間に健康診断を受けたか

「受けている」が69.5%、「受けていない」が29.8%

(9) 普段、自分を健康だと思うか

「まあ健康である」が68.5%、約8割が『健康』（「非常に健康である」+「まあ健康である」）と回答

7 妊娠中のことについて

(1) 女性のみ回答 妊娠中診断を受けた病気はあるか

「ある」が10.7%、「ない」が63.6%

(2) 妊娠中診断を受けた病気が「ある」方 診断名

「妊娠糖尿病」が50.0%、「妊娠高血圧症候群」が30.9%、「その他」が27.7%

8 自身のストレス対処法について

「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』は、「どうしていいかわからないので何もしないでがまんする」が69.6%で最も高く、次いで「その出来事のよい面だけを考える」が56.9%である、一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、「趣味や娯楽で気をまぎらわす」が82.4%で最も高

くなっている

9 育児中のあなた自身について

「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は、「子育ての喜びを身近な人に伝えることができる」が88.2%で最も高く、次いで「子育てに困ったことがあっても何とかなると思う」が78.6%、「子育てで困ったことがあれば人に頼ることができる」(76.6%)、「子育てで周囲の人に助言を求めることができる」(76.3%)で7割を超えてい

また、「子育てを続けていく自信がない」では83.8%が『そう思わない』と回答している、一方、「子育て中の仲間を作ることができる」では、『そう思う』と『そう思わない』がそれぞれ38.7%と30.1%と拮抗している

10 あなたの付き合いについて

「常にある」と「ときどきある」を合わせた『ある』と感じることが最も多いのは、「自分は人との付き合いがない」42.5%、次いで「自分が取り残されている」22.9%、「自分は他の人たちから孤立している」23.1%となっている

11 あなたの周りの方々との関係について

「少なくとも月1回、会ったり話したりする人」、「個人的なことで話すことができるくらい気軽に感じられる人」、「助けをもとめることができるくらい親しく感じられる人」のいずれも、「友人」よりも「親族」の方が、「1人以上」いる割合が多く、「親族」では91.7%、94.6%、95.7%と9割以上が「1人以上」いると回答している

また、「友人」について、「少なくとも月1回、会ったり話したりする人」で「いない」が約3割と他より高くなっている

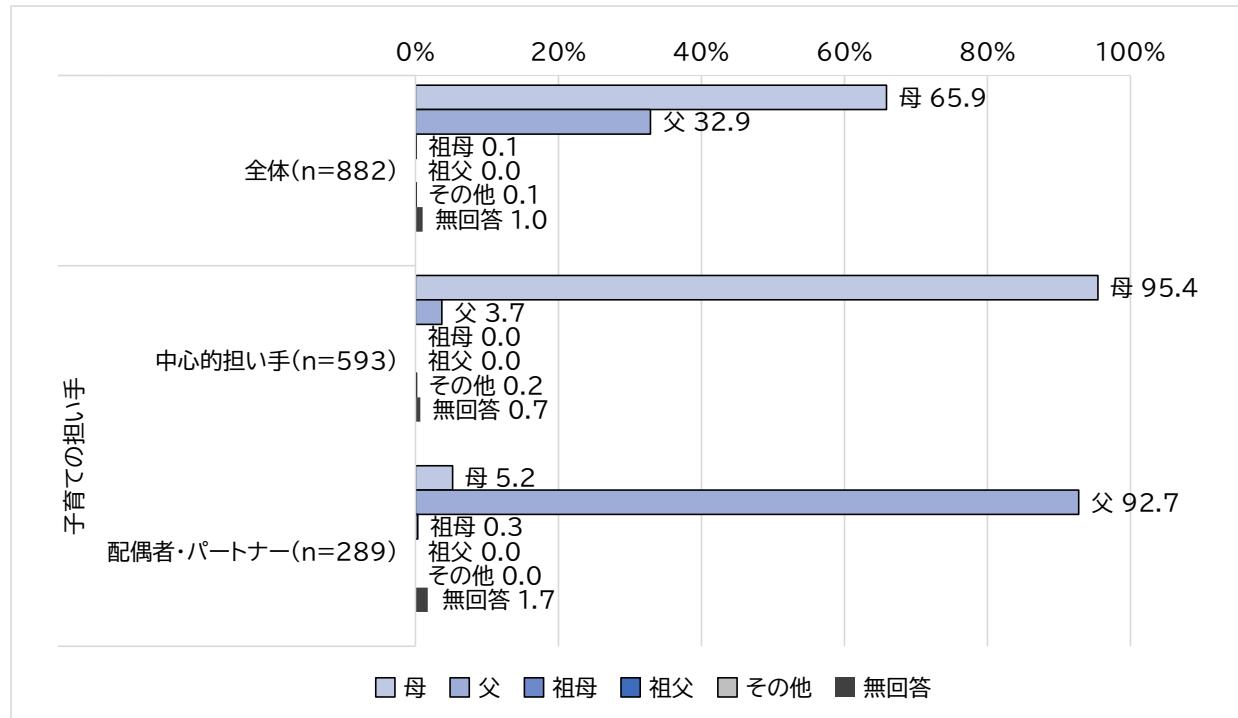
12 **ひとり親の方以外** 配偶者またはパートナーとのコミュニケーションについて

「よくする」と「時々する」を合わせた『する』で最も多いのは、「子どもの成長・発達をあなたとともに喜んでくれる」95.9%、次いで「配偶者またはパートナーと二人で笑うことがある」90.4%、「信頼してくれる」87.8%、「あなたの話に耳を傾け、親身に聞いてくれる」85.6%の順

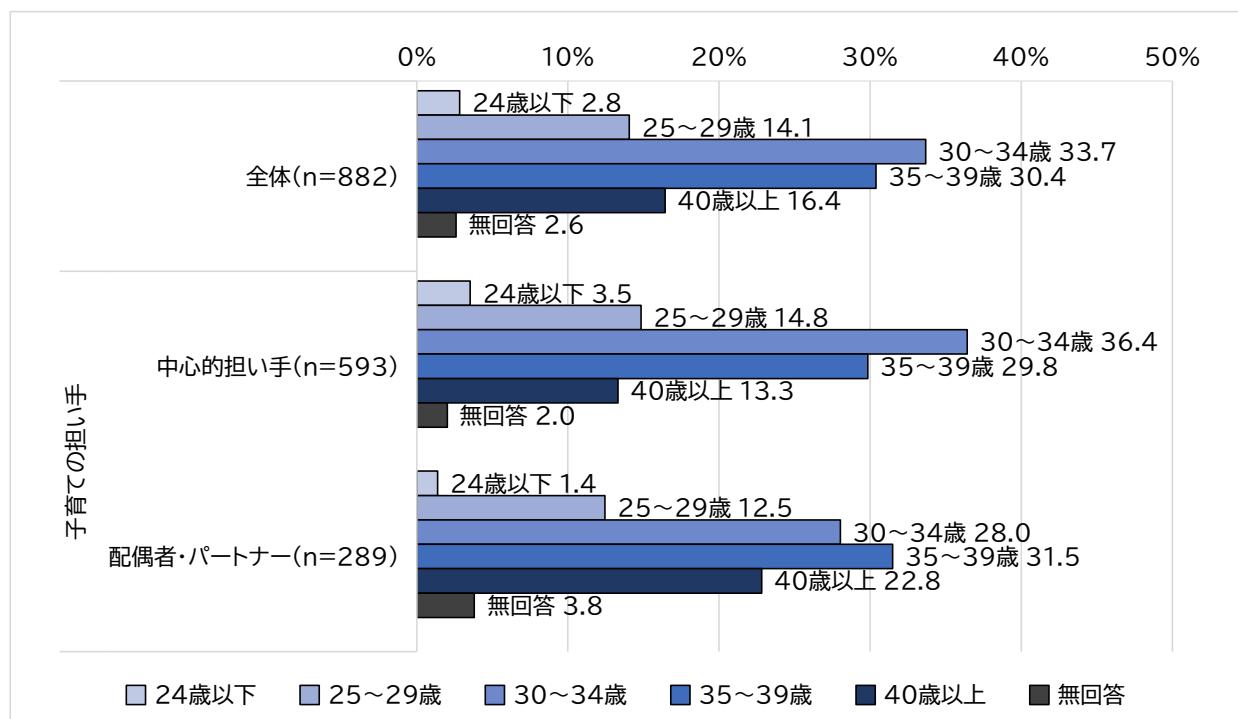
III. 調査結果

<属性>

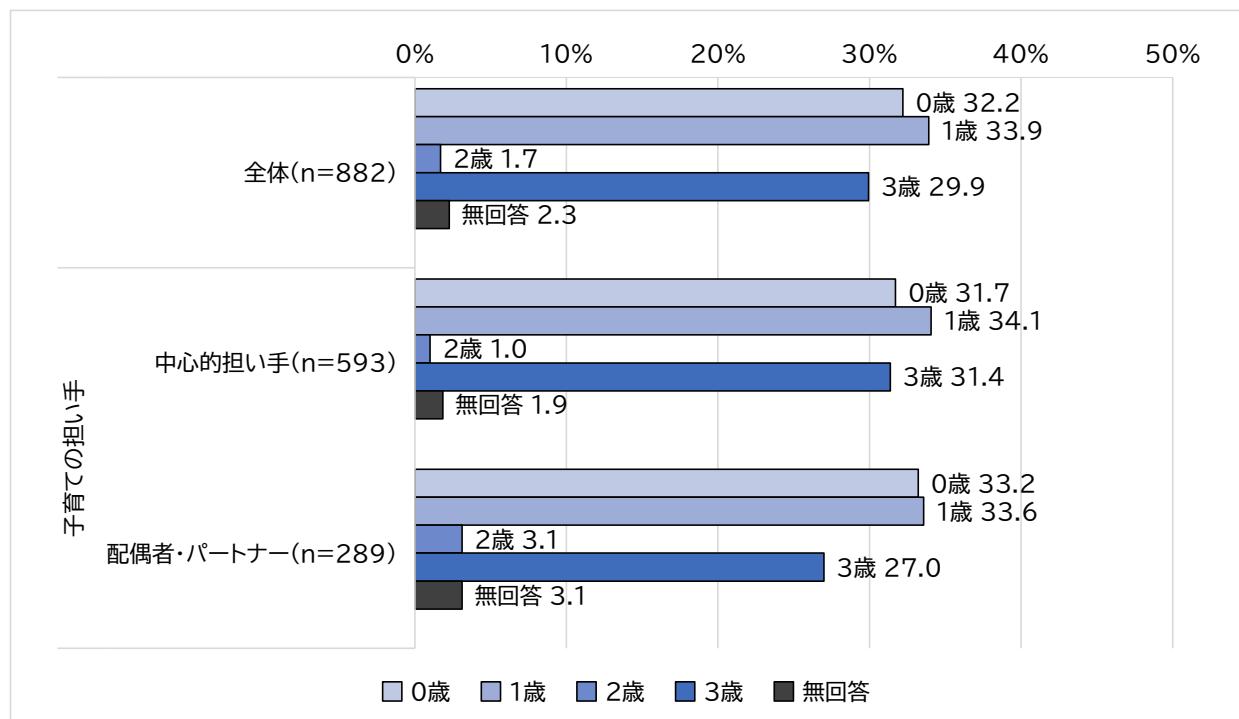
(1) お子さんとの続柄



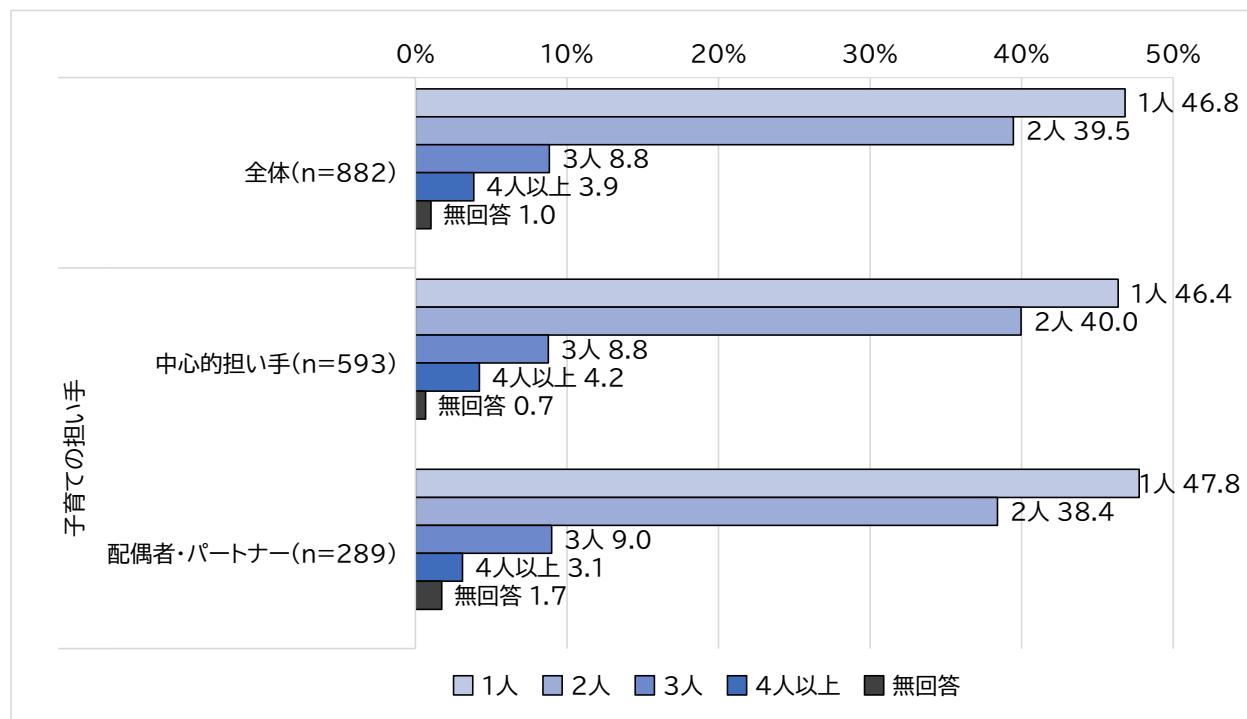
(2) 年齢（回答者）



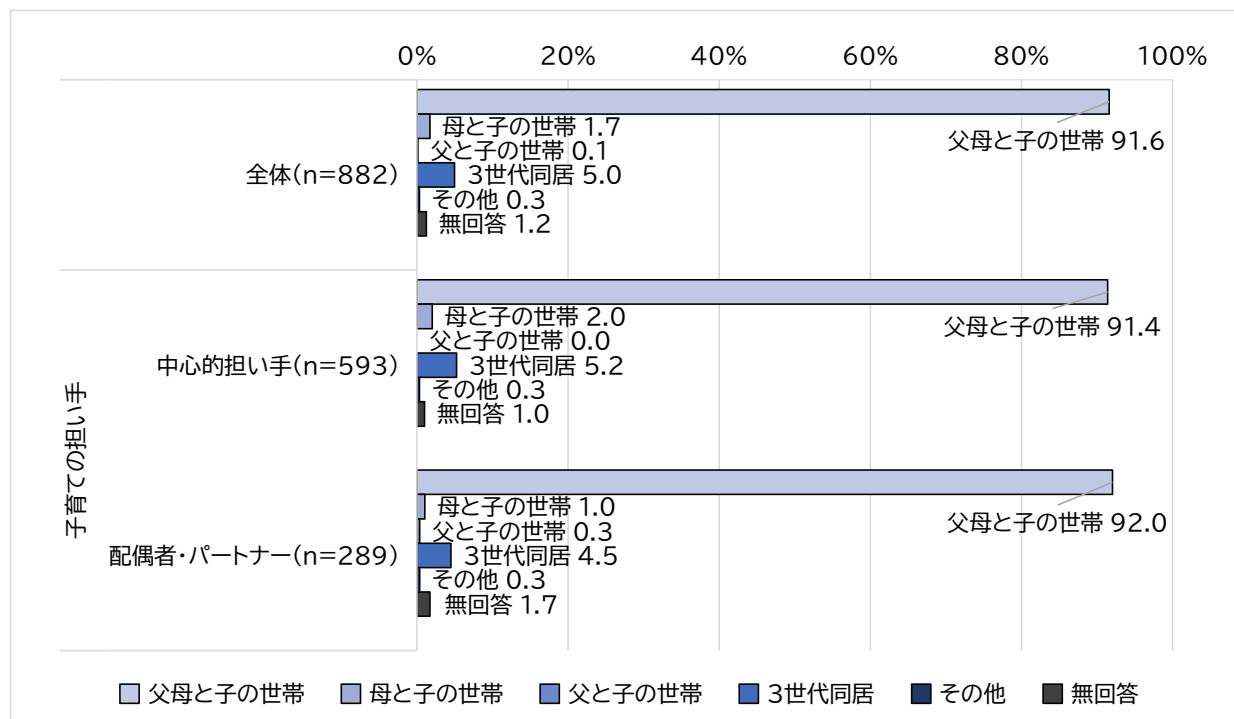
(3) お子さんの年齢



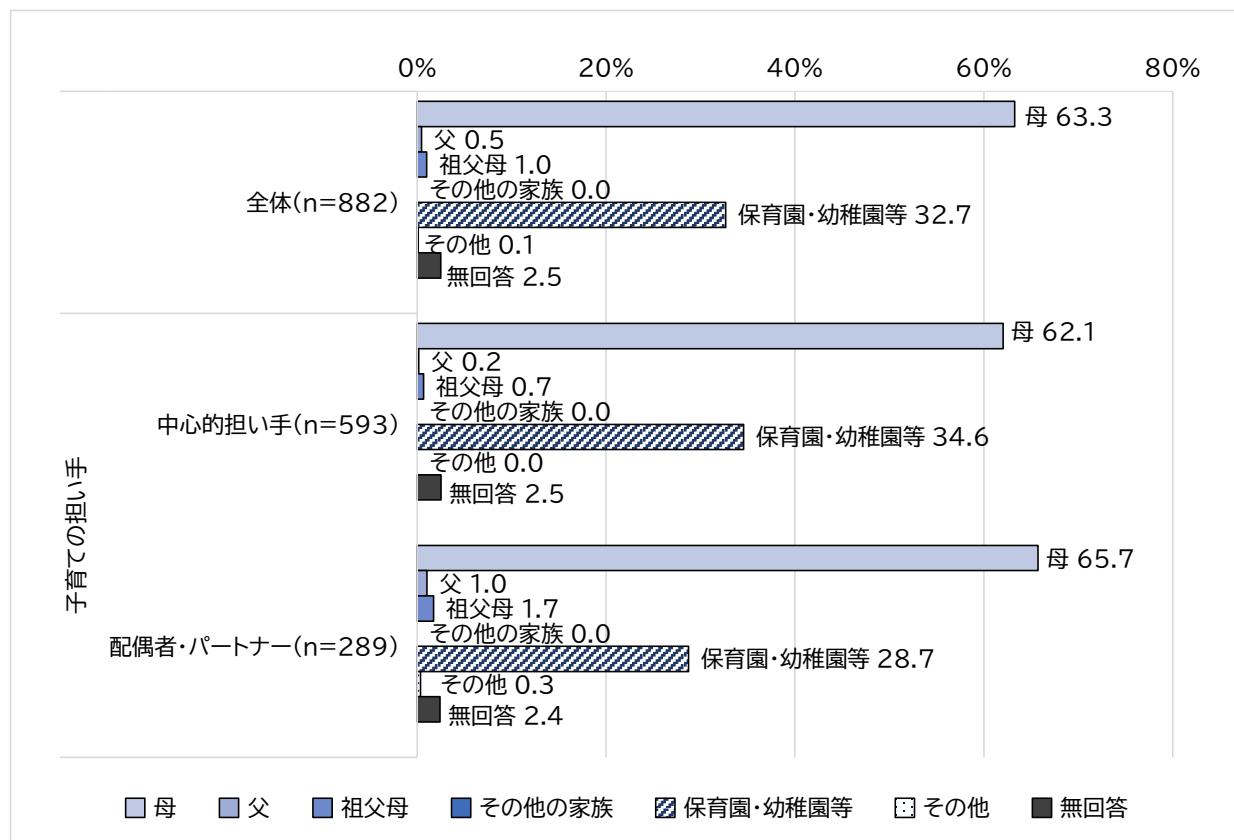
(4) お子さん（対象のお子さんを含む）の人数



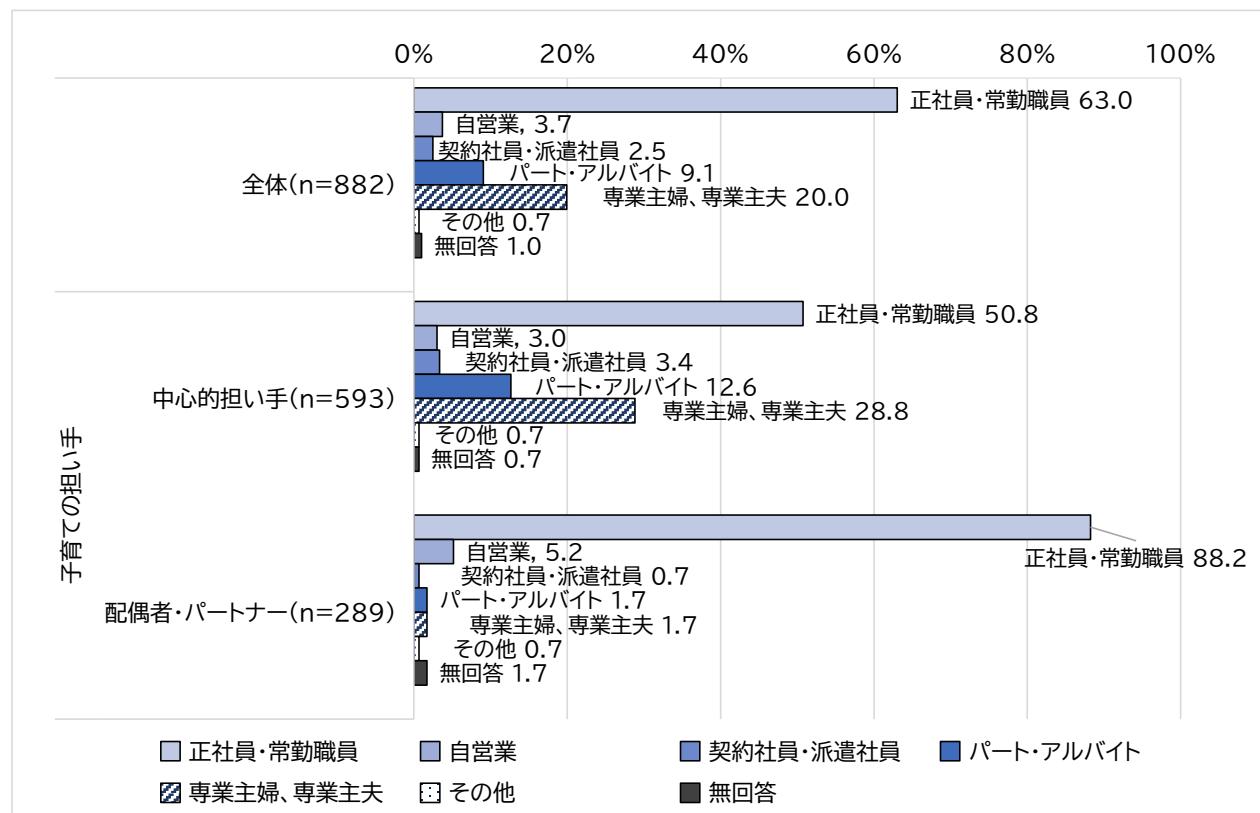
(5) 家族形態



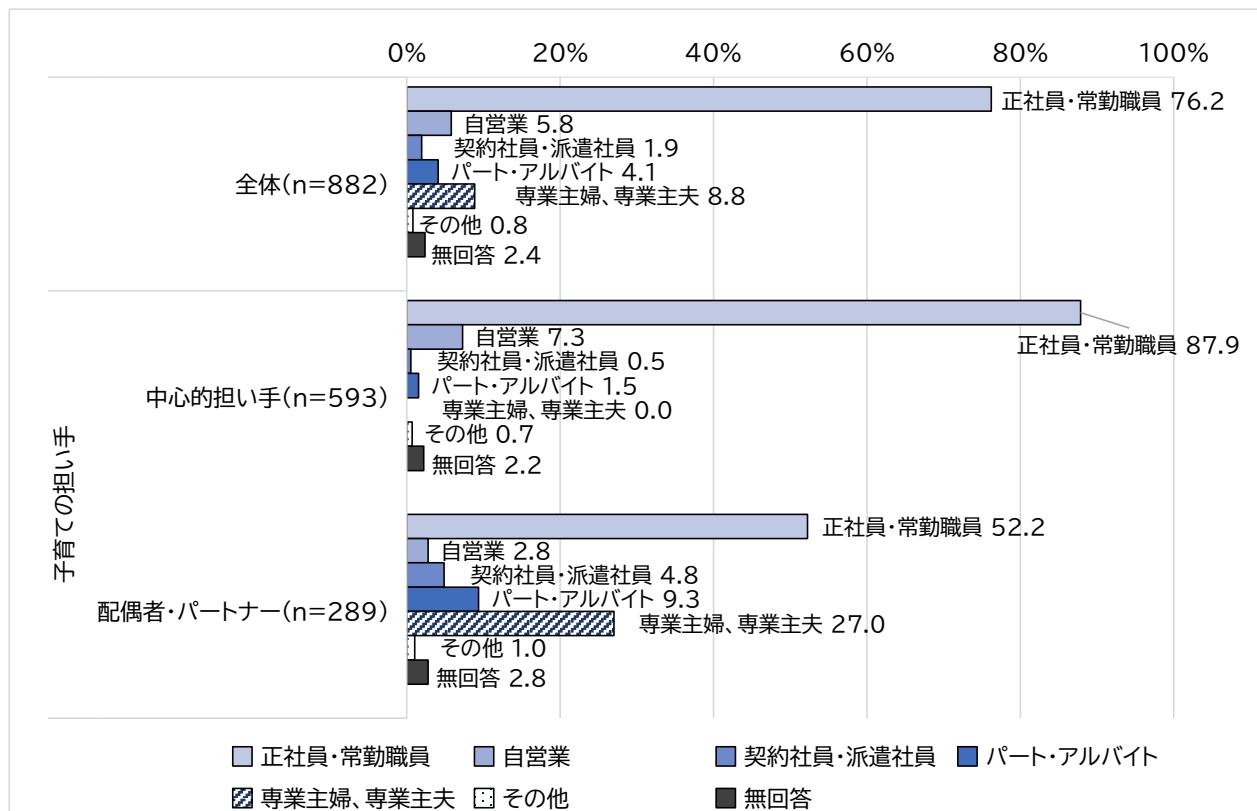
(6) お子さんの主な日中の保育者



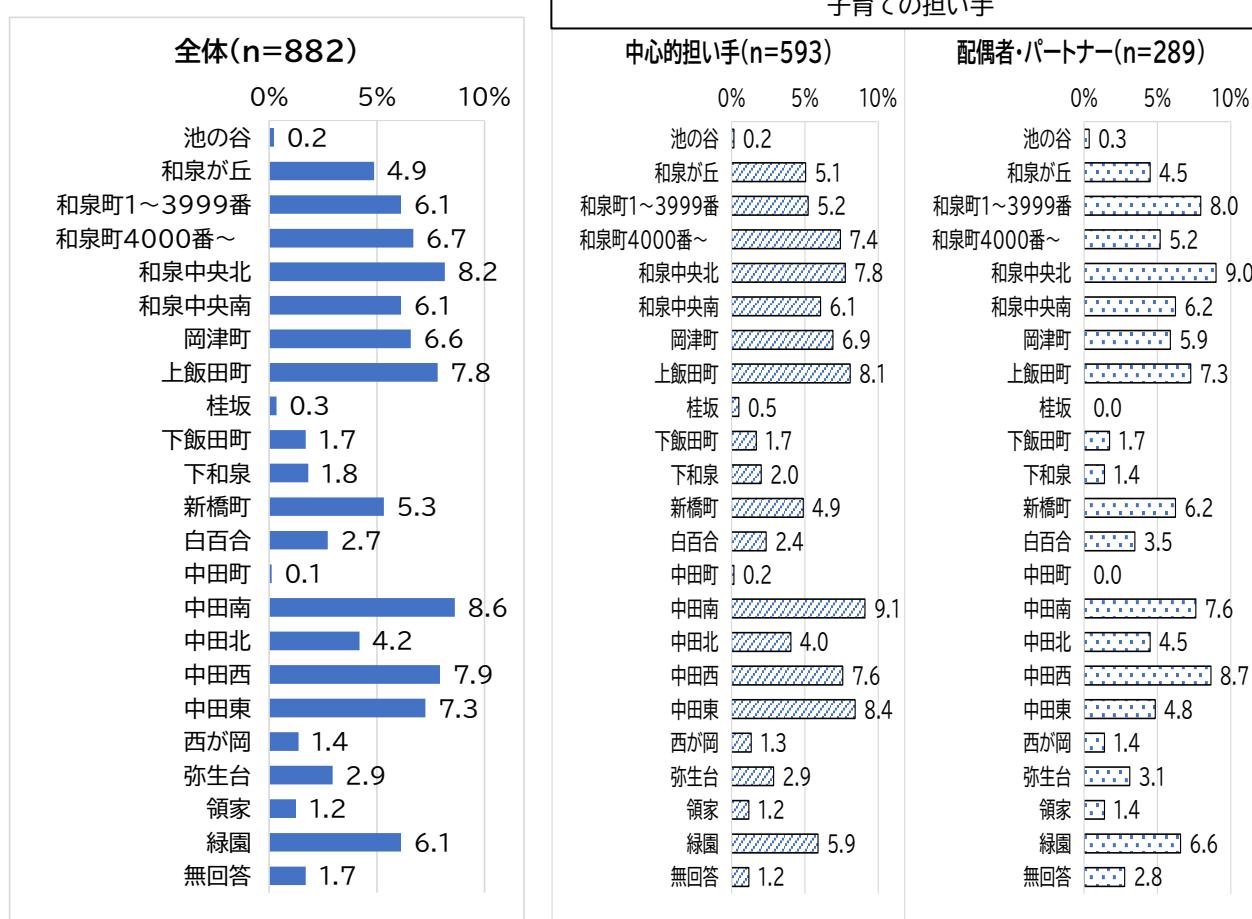
(7) 回答者の就労状況



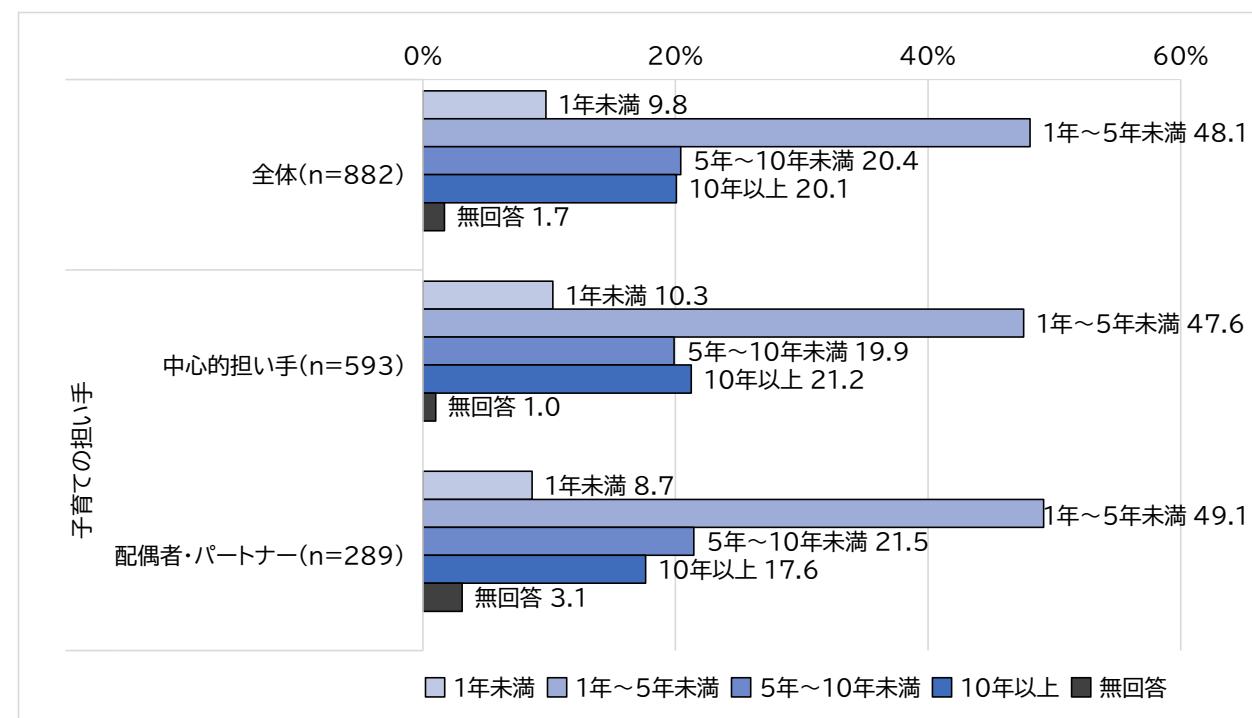
(8) 配偶者（パートナー）の勤務状況



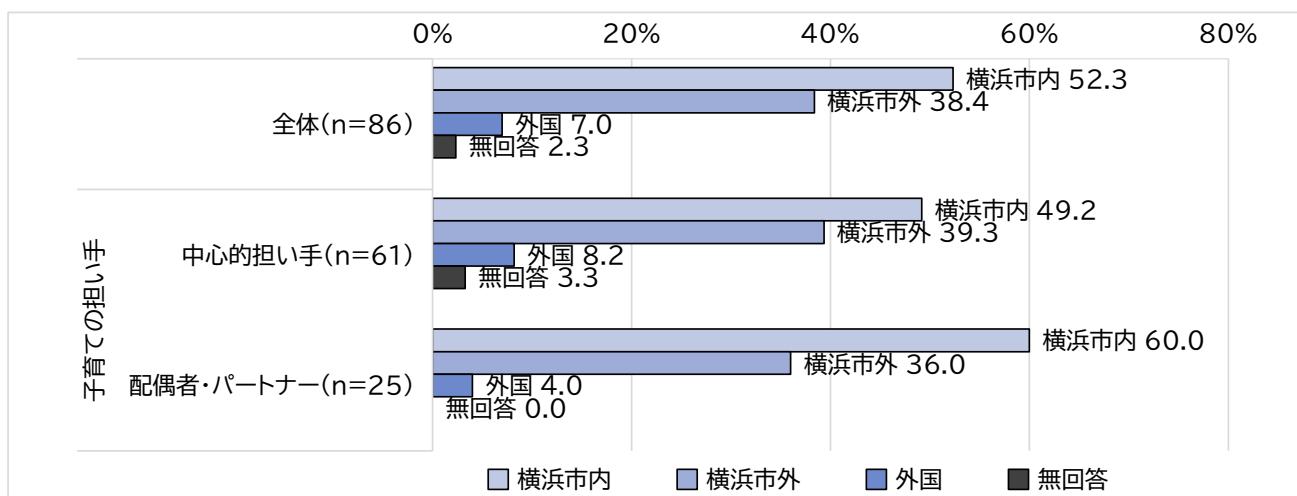
(9) 泉区でのお住まい



(10) 泉区での在住期間



(11) 泉区の前のお住まい



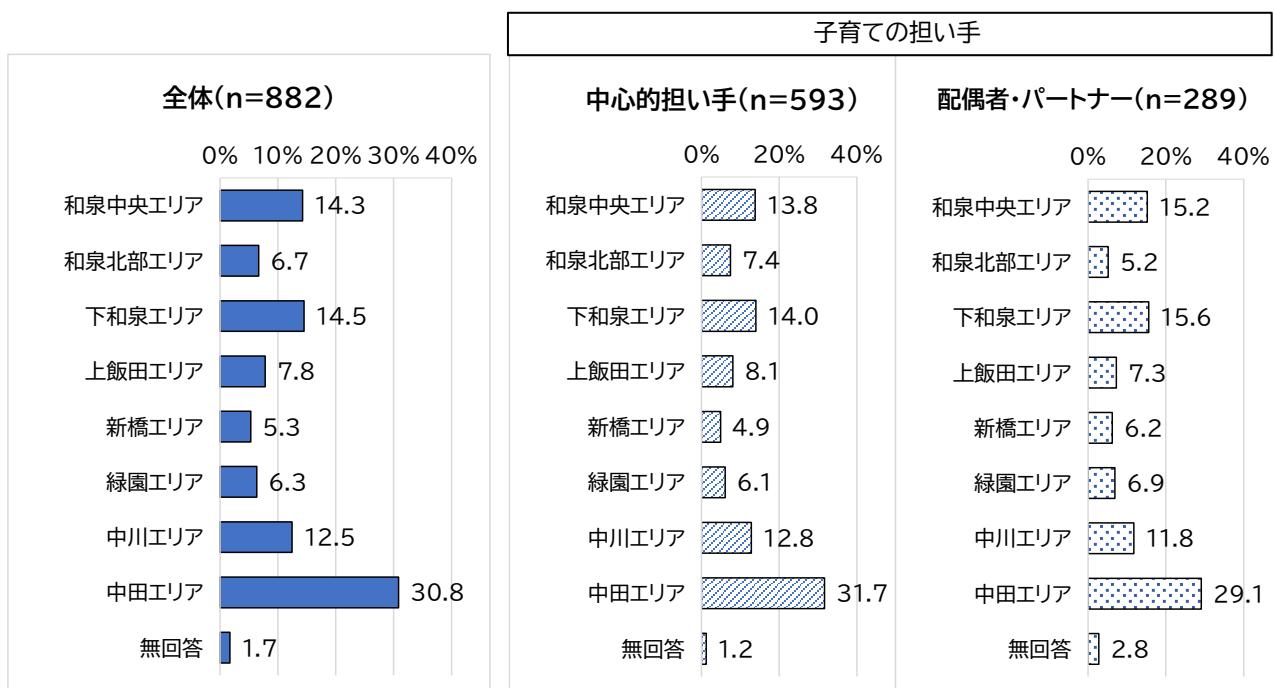
横浜市内（区）

区	件数	区	件数
戸塚区	13	港南区	3
瀬谷区	6	金沢区	2
旭区	6	磯子区	2
港北区	4	都筑区	1
西区	3	神奈川区	1
保土ヶ谷区	3	栄区	1
計	45		

横浜市外（都道府県・市区町村）

都道府県	件数	市区町村	件数	都道府県	件数	市区町村	件数	都道府県	件数	市区町村	件数
神奈川県	16	川崎市	8	埼玉県	3	さいたま市	1	北海道	2	札幌市	1
		綾瀬市	2			わらび市	1			千歳市	1
		藤沢市	2			吉川市	1			豊田市	2
		相模原市	2	東京都	3	墨田区	2	京都府	1	京都市	1
		大和市	2			-	1	富山県	1	富山市	1
				千葉県	3	習志野市	2	栃木県	1	日光市	1
					-		1	群馬県	1	太田市	1
										計	33

(12) エリア

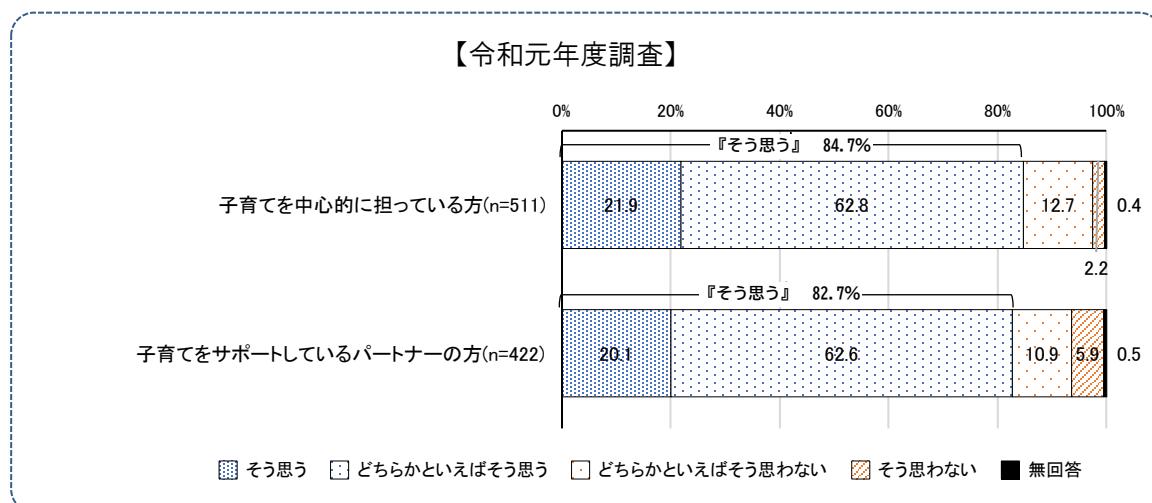
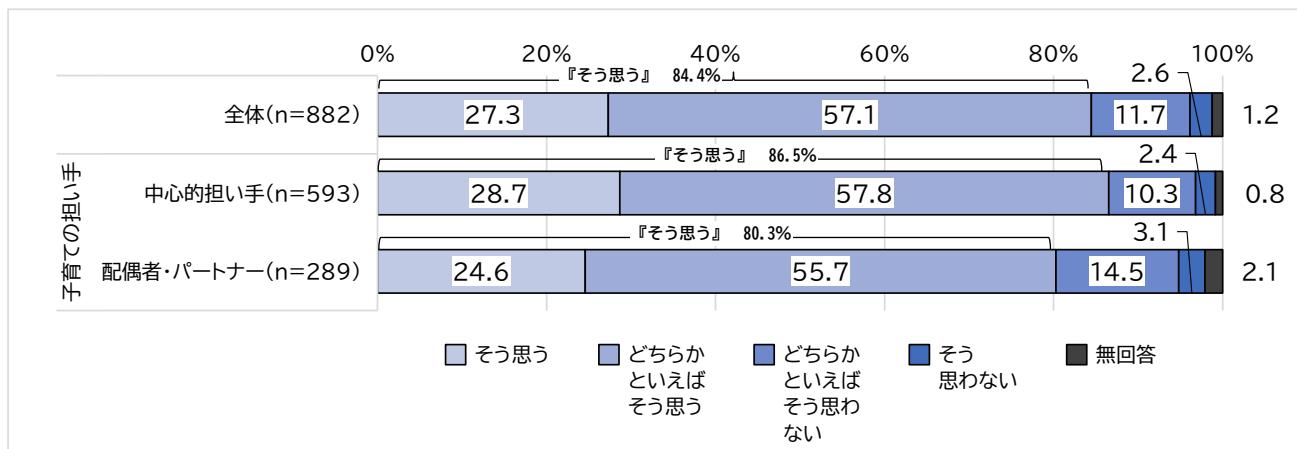


<回答結果>

1 子育てしやすいまちに関する意識について

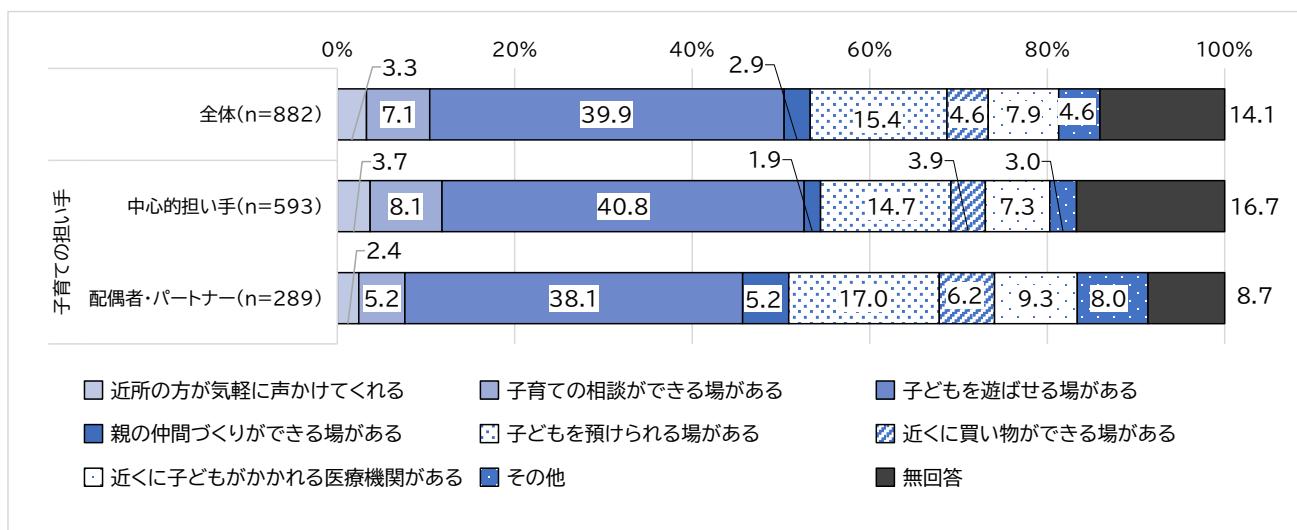
(1) 泉区が「子育てしやすいまち」だと感じますか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、『そう思う』（そう思う+どちらかといふ+そう思わない）が84.4%、『そう思わない』（「どちらかといふ」と「そう思わない」）が14.3%
- 「子育てを中心的に担っている方（調査A回答者）」と「子育てをサポートしているパートナーの方（調査B回答者）」を比較すると（以下、「AB回答者で比較すると」と表記）、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より『そう思う』の割合が6.2ポイント高くなっている
- 令和元年度調査と比較すると、大きな差はないが、『そう思う』の割合は、「中心的担い手」では1.8ポイント増加し、「配偶者・パートナー」では2.4ポイント減少している



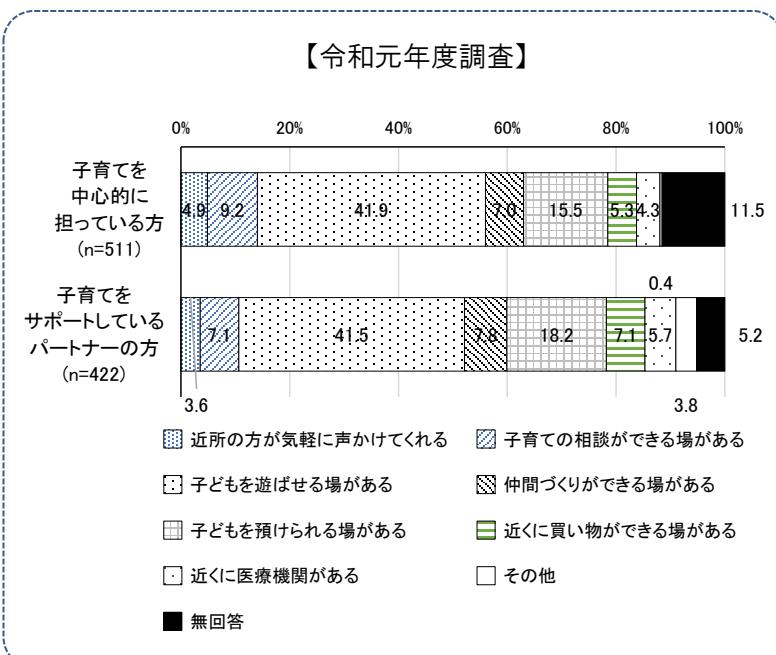
(2) 「子育てしやすいまち」になるためには何があるといいと思いますか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「子どもを遊ばせる場がある」が最も多く 39.9%、次いで「子どもを預けられる場がある」が 15.4%
- AB回答者で比較すると、ほとんどの項目で差がなかったが、「親の仲間づくりができる場がある」、「子どもを預けられる場がある」、「近くに買い物ができる場がある」、「近くに子どもがかかれ医療機関がある」で、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より 2~3 ポイント低くなっている
- 令和元年度調査と比較すると、AB回答者ともに「近くに子どもがかかれ医療機関がある」でのみ増加傾向、それ以外の項目は全て減少傾向がみられるが、特に「親の仲間づくりができる場がある」では、「中心的担い手」で 7.0% が 1.9% と大きく減少している



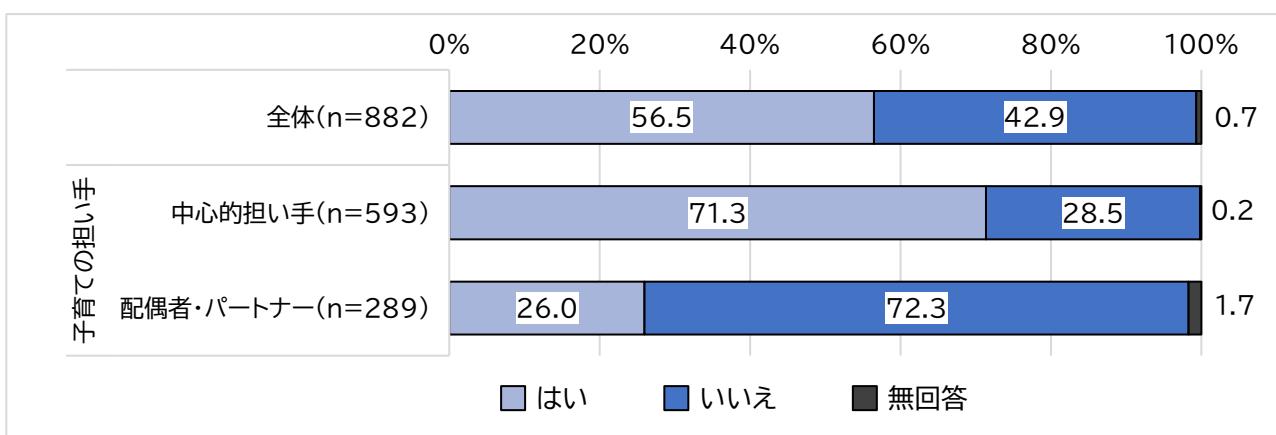
その他記述

「子育てしやすいまち」になるためにあるとよいもの	件数
子育て家庭への経済的支援	11
保育園の拡充	8
道路を広くしガードレール設置、歩道整備	6
公園	4
生活用品・育児用品などのサポート	2
授乳室やおむつ替えができる場	2
治安の良さ	2
インフラ整備	1
希望する保育園への入園	1
子育て世帯への理解	1
独自の支援制度	1
戸塚のこまちカフェのような子連れカフェ	1
バス便の拡充	1
プレイパーク	1
計	42



(3) 「子育て応援マーク」を知っていますか。 (○はひとつ)

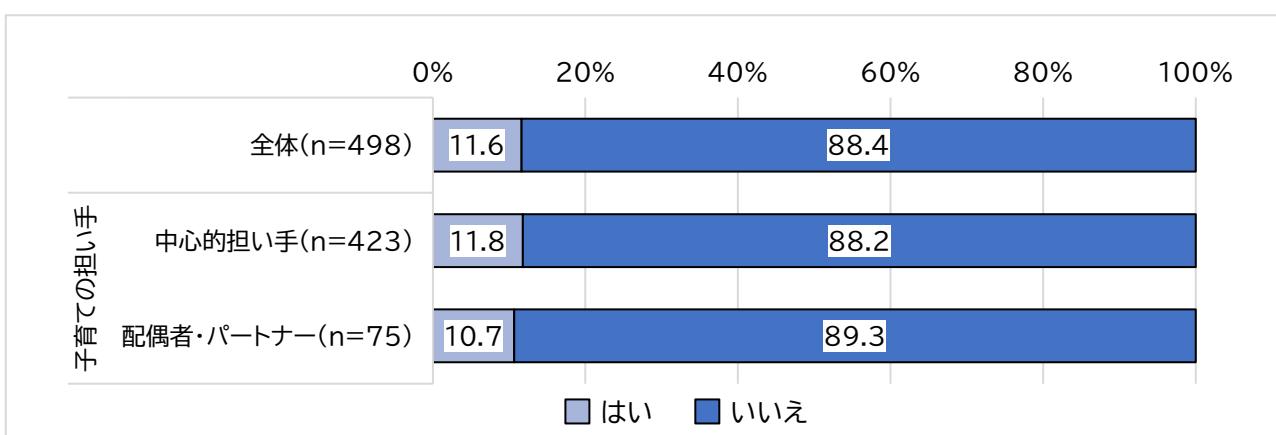
- 全体でみると、「はい」56.5%、「いいえ」が42.9%
- AB回答者で比較すると、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より「はい」の割合が45.3ポイント高くなっている



(3) で「子育て応援マーク」を知っていると回答された方

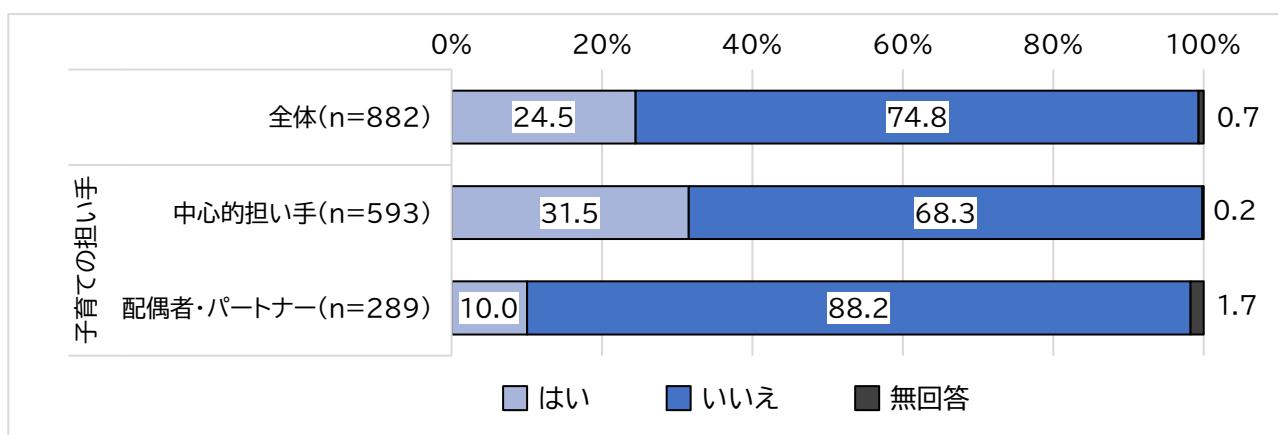
(4) 「子育て応援マーク」を身に着けていますか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「はい」11.6%、「いいえ」が88.4%
- AB回答者で比較すると、大きな差はないが、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より「はい」の割合が1.1ポイント高くなっている



(5) 「子育て応援センター」を知っていますか。 (○はひとつ)

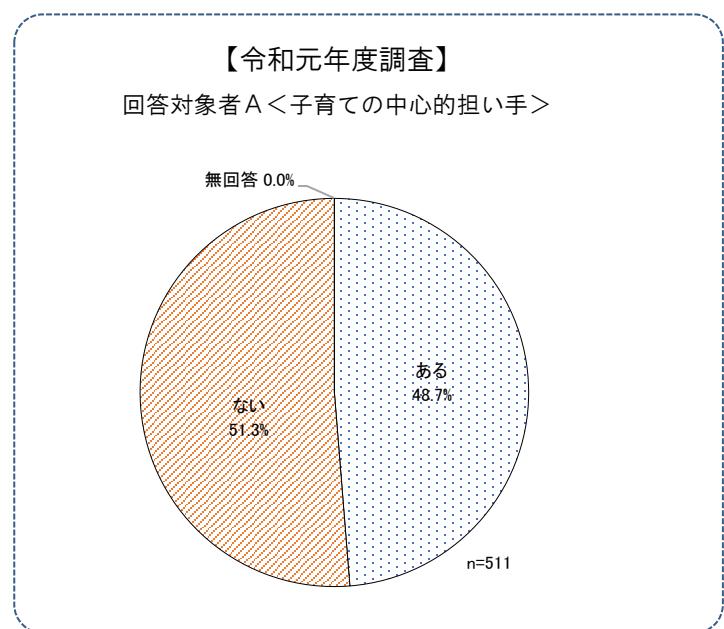
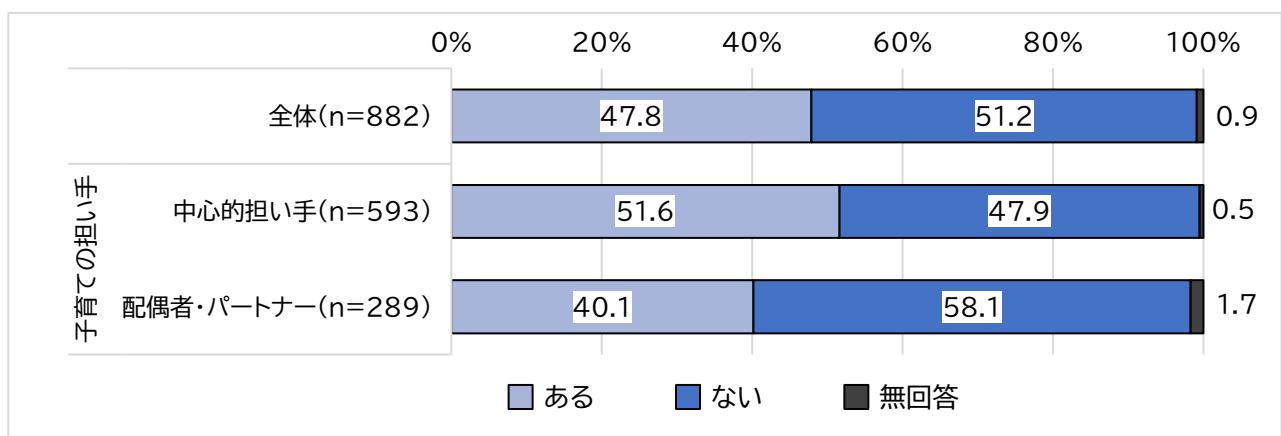
- 全体でみると、「はい」24.5%、「いいえ」が74.8%
- AB回答者で比較すると、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より「はい」の割合が21.5ポイント高くなっている



2 地域の子育て支援の利用状況について

(1) 「地域子育て支援拠点すきっぷ」を利用したことがありますか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「ある」47.8%、「ない」が51.2%
- AB回答者で比較すると、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より「はい」の割合が11.5ポイント高くなっている
- 「中心的担い手」について、令和元年度調査と比較すると、「ある」の割合が2.9ポイント増加している



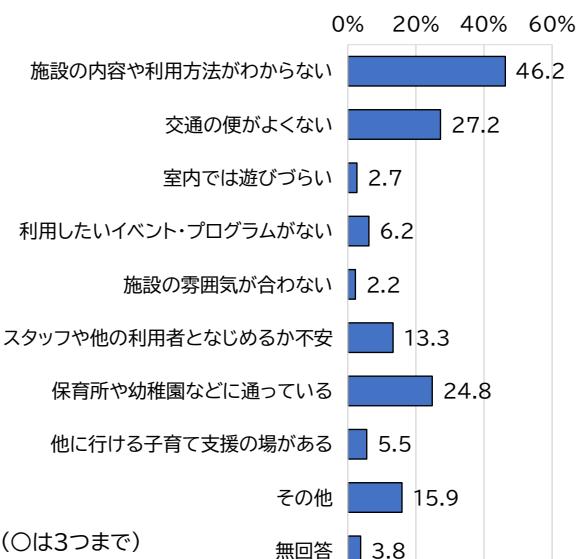
(1) で「地域の子育て拠点すきっぷ」を利用したことがないと回答された方

(2) 地域の子育て拠点すきっぷを利用したことがない理由は何ですか。

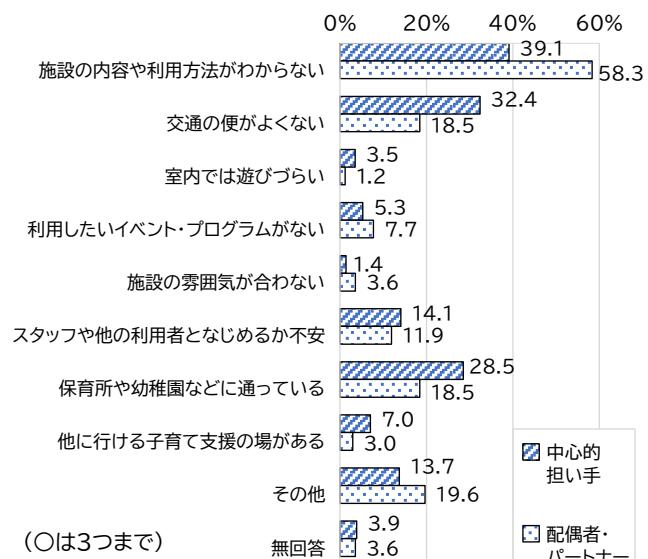
(○は最大3つまで)

- 全体でみると、「施設の内容や利用方法がわからない」が最も多く46.2%、次いで「交通の便がよくない」が27.2%、「保育所や幼稚園などに通っている」が24.8%
- AB回答者で比較すると、「交通の便がよくない」、「保育所や幼稚園などに通っている」で「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より10ポイント以上高く、「施設の内容や利用方法がわからない」で、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より19.2ポイント高くなっている

全体(n=452)



中心的担い手(n=284)
配偶者・パートナー(n=168)

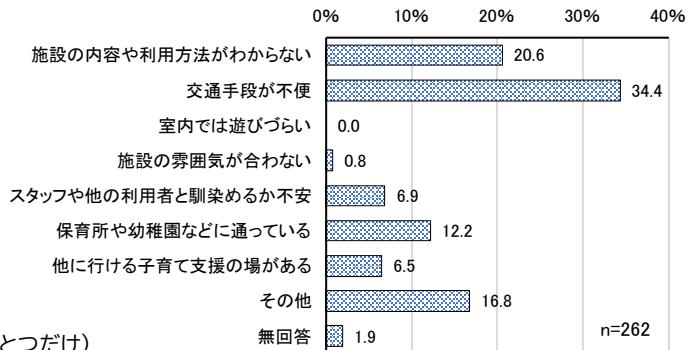


その他記述

すきっぷを利用したことのない理由	件数
あるのを知らなかった	17
今後利用したい	8
家から遠い	7
行く余裕がない	6
仕事をしているため	5
行く必要ない(兄弟がいるなど)	4
情報がない	3
行ける日にやっていない	2
感染症が心配	2
気乗りがしない	2
家でゆっくりしたい	1
暑くて外出できない	1
実家に帰省していたから	1
駐輪場がない	1
計	60

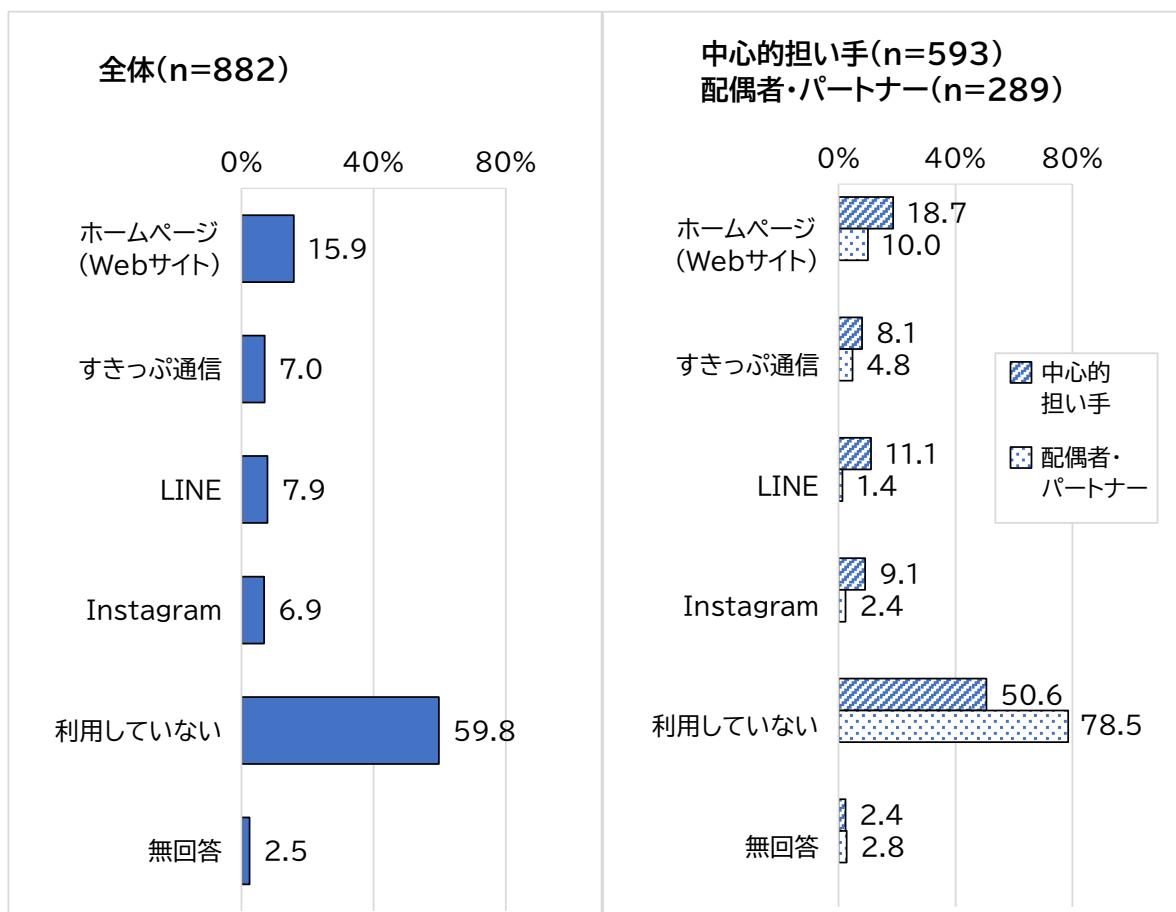
(参考) 【令和元年度調査】

回答対象者A <子育ての中心的担い手>



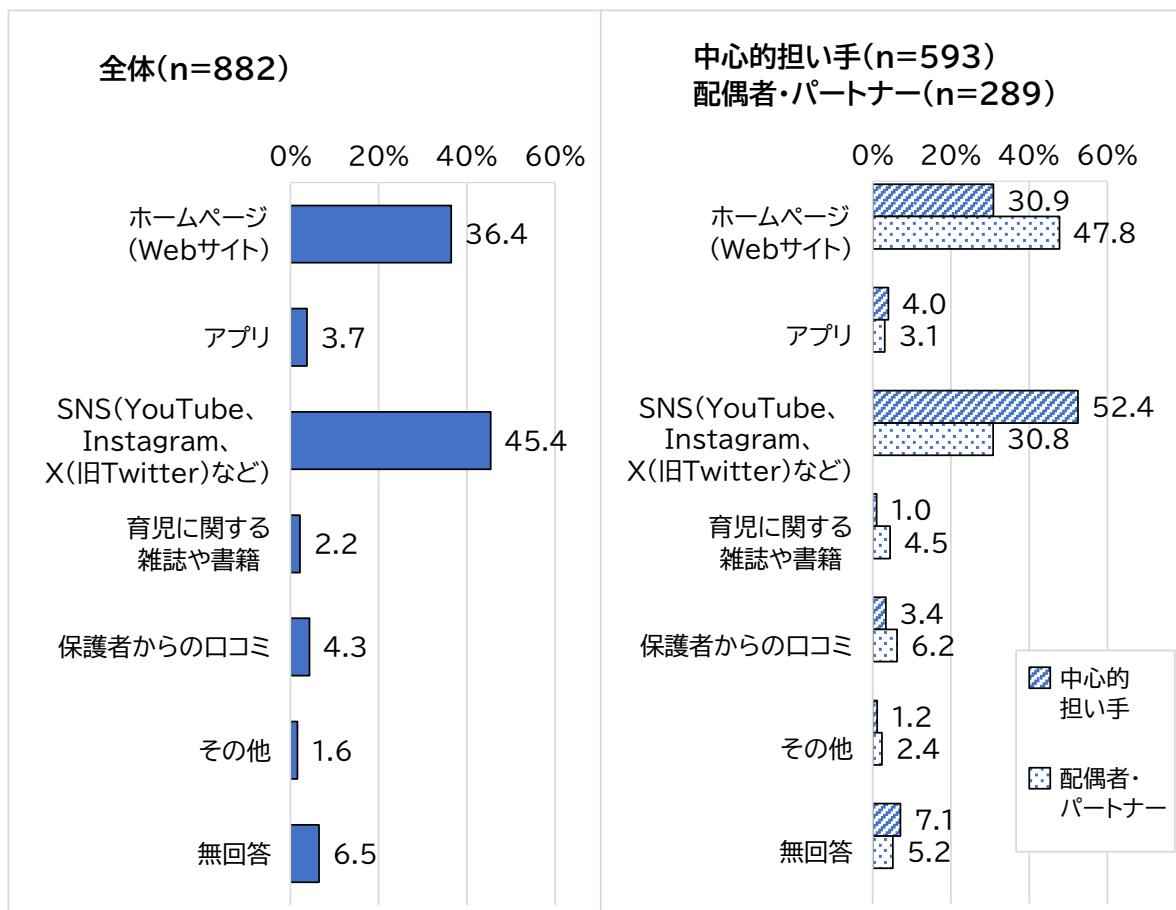
(3) 「地域子育て支援拠点すきっぷ」が発信する子育て情報の中で、最も利用しているものは何ですか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「利用していない」が約6割であるが、「ホームページ（Webサイト）」が最も多く15.9%、「LINE」、「すきっぷ通信」、「Instagram」が1割弱
- AB回答者で比較すると、「利用していない」では、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より27.9ポイント高く、「LINE」、「ホームページ（Webサイト）」、「Instagram」では、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より5ポイント以上高くなっている



(4) 子育てに関する情報を得るのに、最も利用するものは何ですか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「SNS (YouTube、Instagram、X(旧Twitter)など)」が最も多く45.4%、次いで「ホームページ (Webサイト)」36.4%
- AB回答者で比較すると、「SNS (YouTube、Instagram、X(旧Twitter)など)」では、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より20ポイント以上高く、「ホームページ (Webサイト)」では、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より10ポイント以上高くなっている
- 「中心的担い手」について、令和元年度調査と比較すると、「SNS (YouTube、Instagram、X(旧Twitter)など)」で30ポイント以上増加し、「ホームページ (Webサイト)」で30ポイント以上減少している

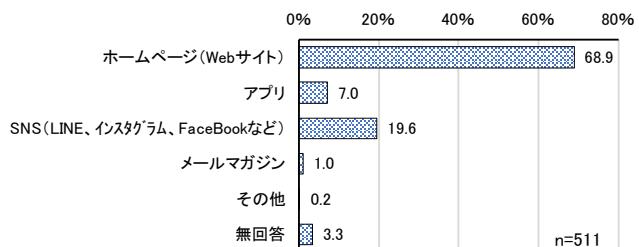


その他記述

最も利用するもの	件数
保育園	2
家族	1
親族	1
テレビ	1
ネット記事	1
保育園仲間	1
職場	1
計	8

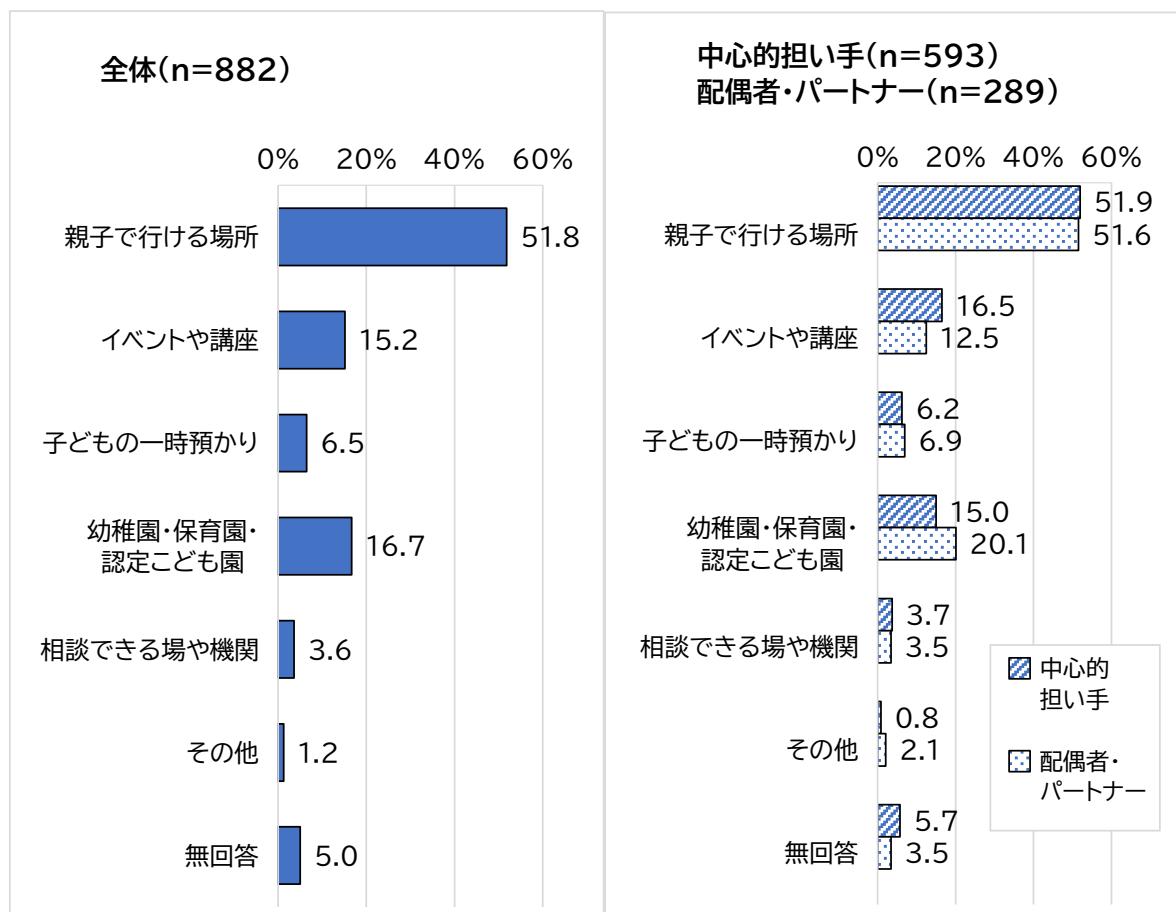
【令和元年度調査】

回答対象者A <子育ての中心的担い手>



(5) 地域の子育て情報で、最も知りたいものは何ですか。 (○はひとつ)

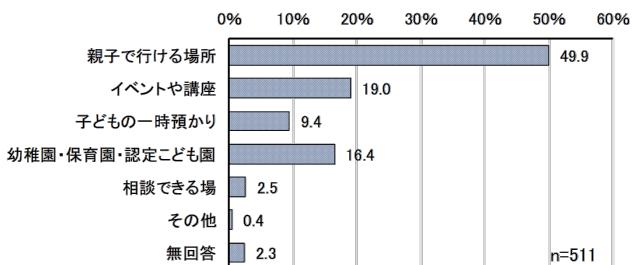
- 全体でみると、「親子で行ける場所」が 51.8%、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園」が 16.7%、「イベントや講座」が 15.2%
- A B回答者で比較すると、大きな差はないが、「イベントや講座」では、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より 4.0 ポイント高く、「幼稚園・保育園・認定こども園」では、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より 5.1 ポイント高くなっている
- 「中心的担い手」について、令和元年度調査と比較すると、大きな差はないが、「親子で行ける場所」で 2.0 ポイント増加し、「子どもの一時預かり」、「イベントや講座」で 2~3 ポイント減少している



その他記述

最も知りたい地域の子育て情報	件数
授乳できる場所・離乳食を与えられる場所	1
お金の情報	1
子どもがかかる医療機関の評判	1
収穫体験できる畑	1
どの様な支援制度があるか	1
ログハウスのような、室内で広く遊べる場所 (夏場は暑すぎて外遊びが難しくなるので)	1
計	7

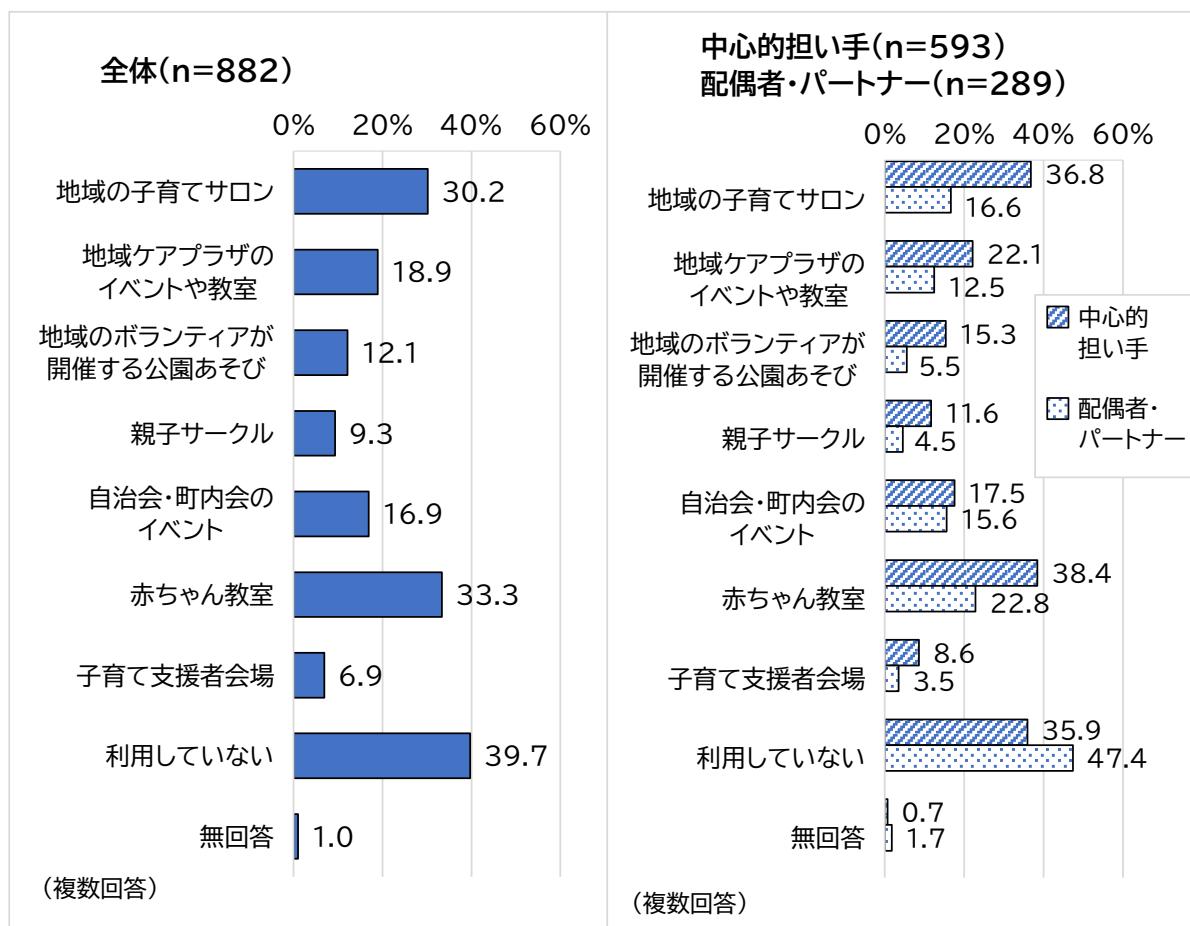
【令和元年度調査】
回答対象者 A <子育ての中心的担い手>



(6) 子育てに関するイベントや教室など、利用したことがあるものをお答えください。

(複数回答可)

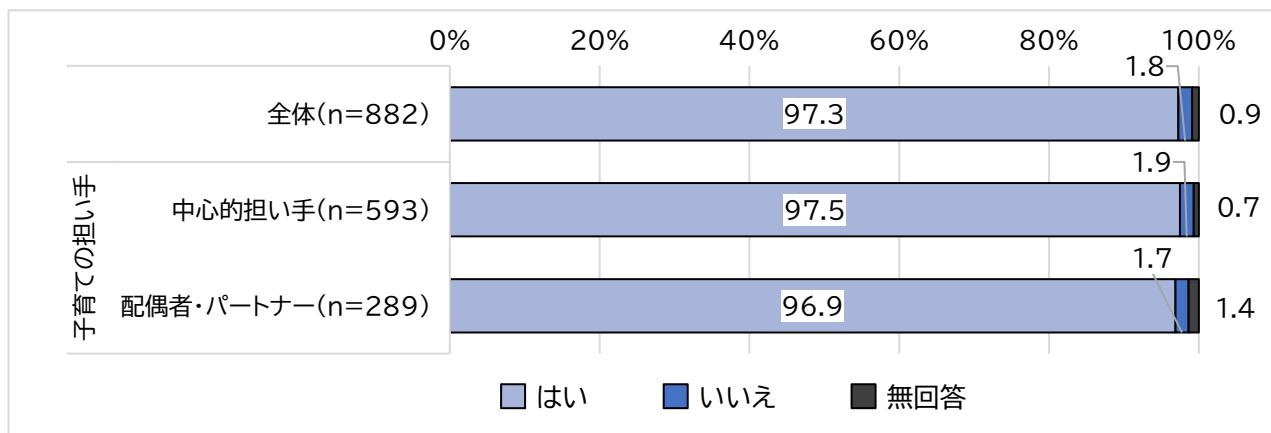
- 全体でみると、「利用していない」が約4割であるが、「赤ちゃん教室」が最も多く33.3%、次いで「地域の子育てサロン」30.2%
- AB回答者で比較すると、「利用していない」では、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より11.5ポイント高く、その他の項目では、全て「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より高くなっている、特に「地域の子育てサロン」で20.2ポイント、「赤ちゃん教室」で15.6ポイント高い、一方、「自治会・町内会のイベント」では、その差が1.9ポイントと少なく「配偶者・パートナー」も他の項目より利用している



3 家族や近所の方とのお付き合いについて

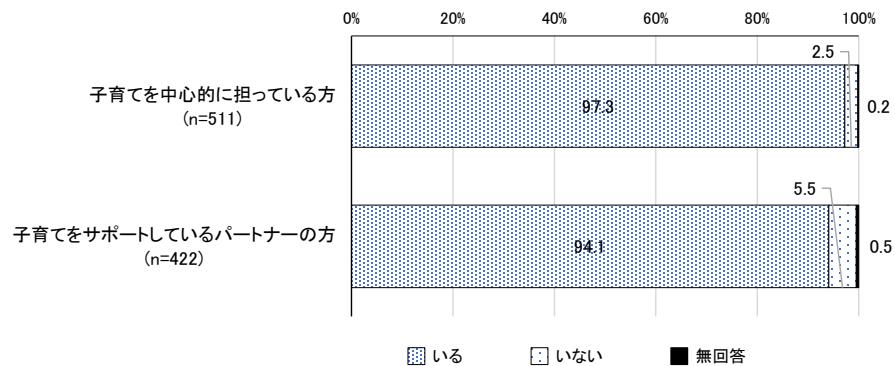
(1) 家族や親戚と気軽に話ができますか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「はい」97.3%、「いいえ」が1.8%
- AB回答者で、大きな差はみられなかった



(参考)【令和元年度調査】

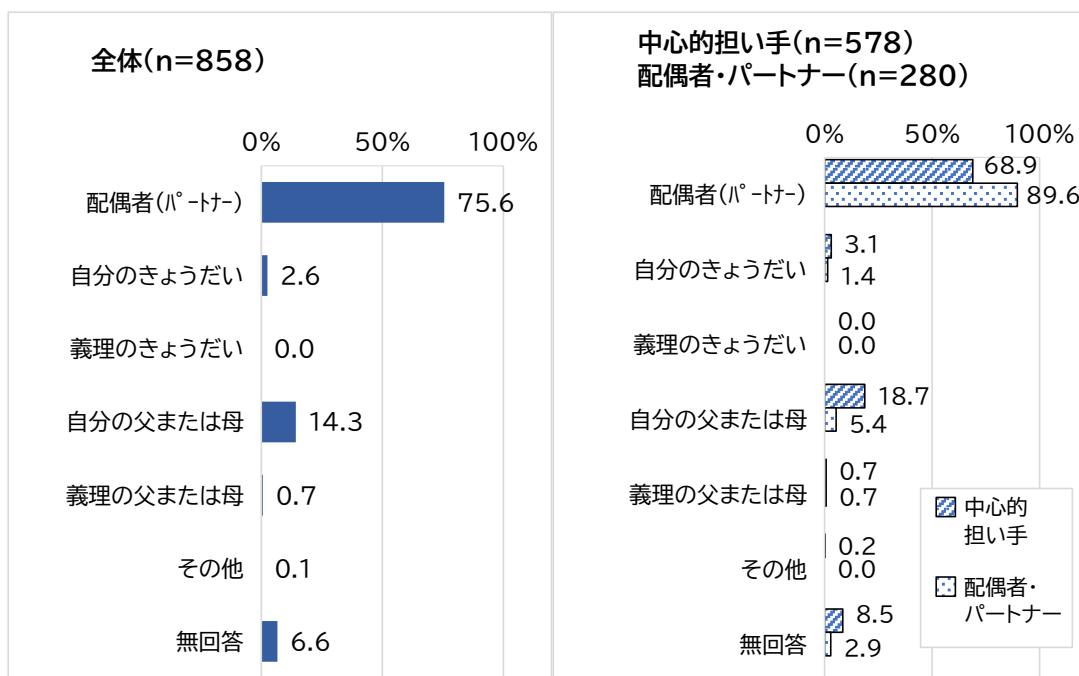
※(設問) 何でも気軽に話せる家族や親戚がいますか。 → 「いる」、「いない」で回答



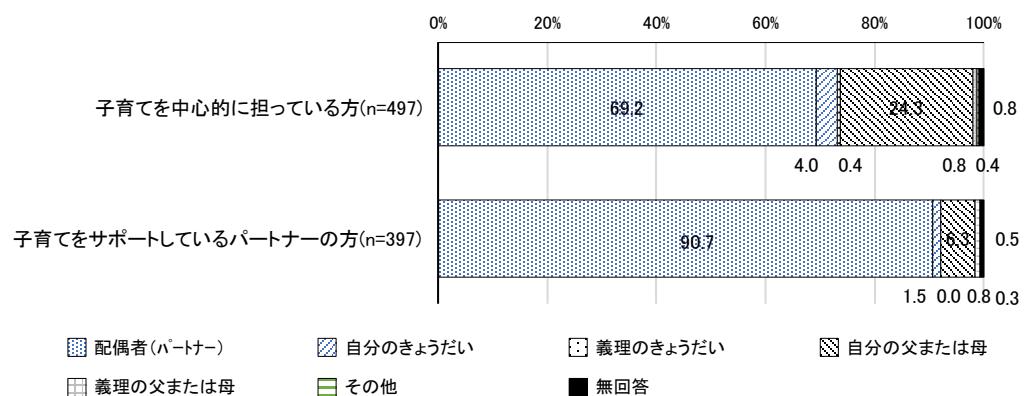
(1) で「家族や親戚と気軽に話ができる」と回答された方

(2) 家族や親戚の中で、誰が一番気軽に話せますか。 (○はひとつ)

- 全体でみると、「配偶者（パートナー）」が 75.6%、次いで「自分の父または母」が 14.3%
- AB回答者で比較すると、「自分の父または母」では、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より 10 ポイント以上高く、「配偶者（パートナー）」では、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より 20 ポイント以上高くなっている
- 令和元年度調査と比較すると、「中心的担い手」で、「自分の父または母」の割合が 5 ポイント以上減少している

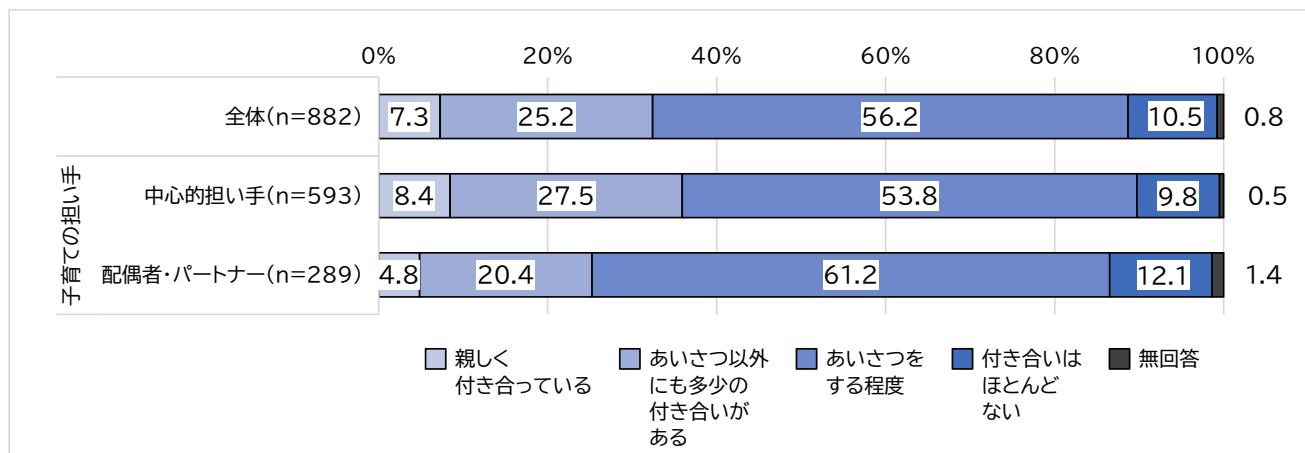


【令和元年度調査】



(3) 近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。 (○はひとつ)

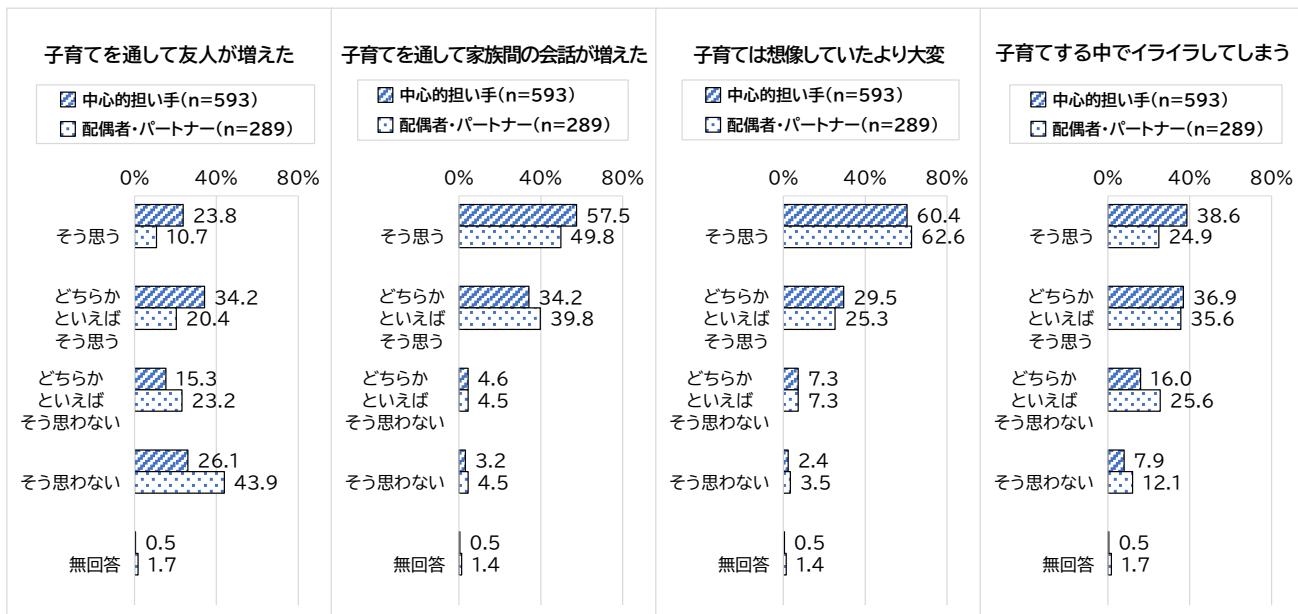
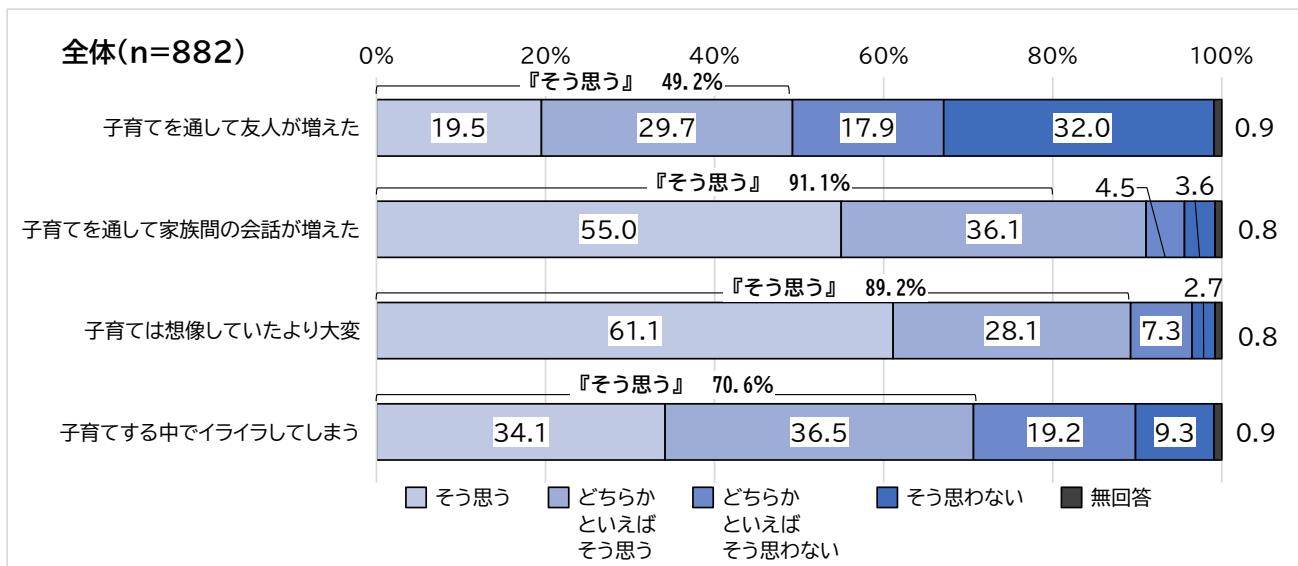
- 全体でみると、「あいさつをする程度」が最も多く 56.2%、次いで「あいさつ以外にも多少の付き合いがある」が 25.2%、「付き合いはほとんどない」 10.5%、「親しく付き合っている」 7.3%
- AB回答者で比較すると、「あいさつ以外にも多少の付き合いがある」では、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より 7.1 ポイント高く、「あいさつをする程度」では、「配偶者・パートナー」の方が「中心的担い手」より 7.4 ポイント高くなっている



4 子育てを通して感じていることについて

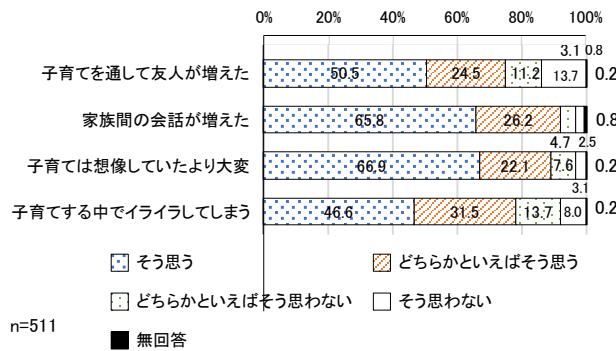
(1) 子育てについての感じ方について、あなたの現状に最も近いと思うものはどれですか。
(それぞれ〇はひとつ)

- 全体では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、「子育てを通して家族間の会話が増えた」が91.1%で最も高く、次いで「子育ては想像していたより大変」89.2%、「子育てする中でイライラしてしまう」70.6%、「子育てを通して友人が増えた」49.2%の順
- AB回答者で比較すると、「子育てを通して友人が増えた」、「子育てする中でイライラしてしまう」では、「中心的担い手」で「配偶者・パートナー」より『そう思う』の割合が10ポイント以上高くなっている
- 令和元年度調査と比較すると、AB回答者ともに全ての項目で「そう思う」の割合が減少している。特に「中心的担い手」の「子育てを通して友人が増えた」では26.7ポイント減少している

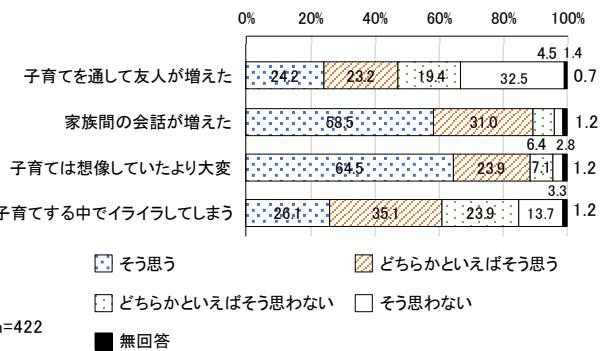


【令和元年度調査】

<中心的担い手>



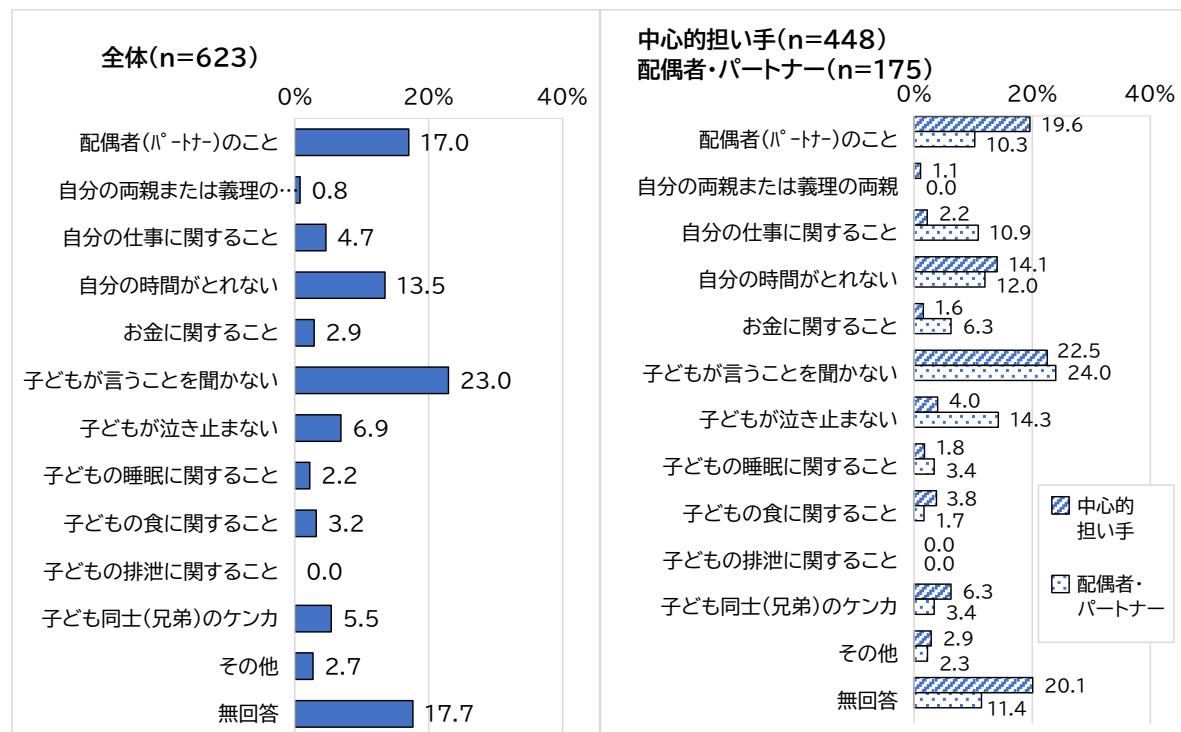
<配偶者・パートナー>



(1) 「子育てる中でイライラしてしまう」で「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答された方

(2) あなたがイライラする一番の原因は何ですか。 (○はひとつ)

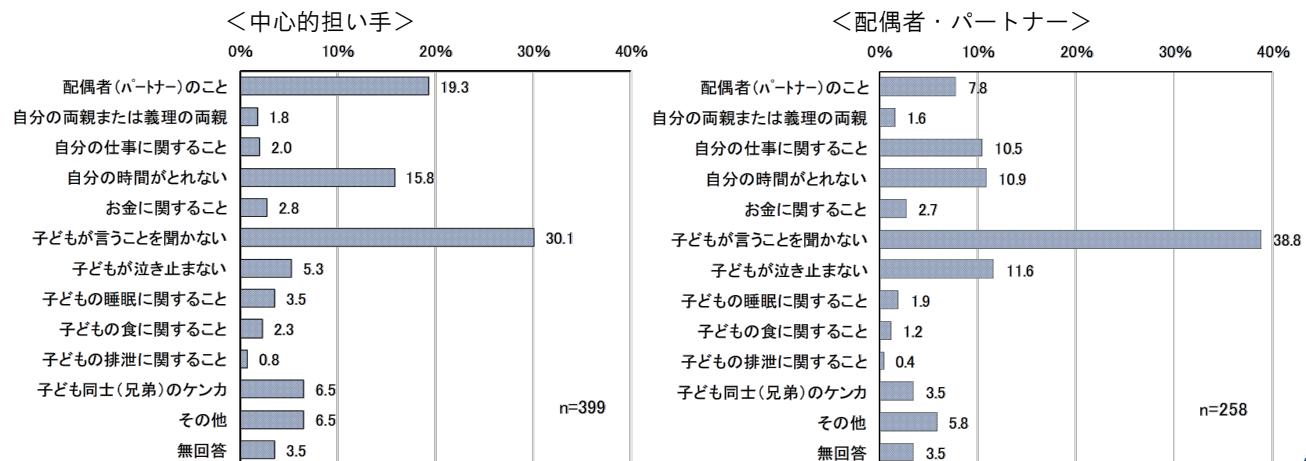
- 全体では、「子どもが言うことを聞かない」が23.0%で最も高く、次いで「配偶者（パートナー）のこと」17.0%、「自分の時間がとれない」13.5%の順
- AB回答者で比較すると、「中心的担い手」では「配偶者（パートナー）のこと」が、「配偶者・パートナー」では「子どもが泣き止まない」、「自分の仕事に関するこ」で高くなっている
- 令和元年度調査と比較すると、AB回答者ともに大きな差はみられないが、「子どもが言うことを聞かない」の割合が「中心的担い手」で7.6ポイント、「配偶者・パートナー」で14.8ポイント減少している



その他記述

イライラする一番の原因	件数
休息の時間がなかなかとれず疲れを感じる	2
自分自身のゆとりがない	2
いろいろなこと	2
上の子のケア、うまくいかない感じがする時、子どもがしっかり成長できているか不安、自身のパニック症、自分のできなさ、睡眠不足、頭痛、全てにおける理想と現実のギャップ、ハミガキ、ふたりの子育てでの優先順位、同時泣き、保育園のこと、保育所が入れない	各1
計	18

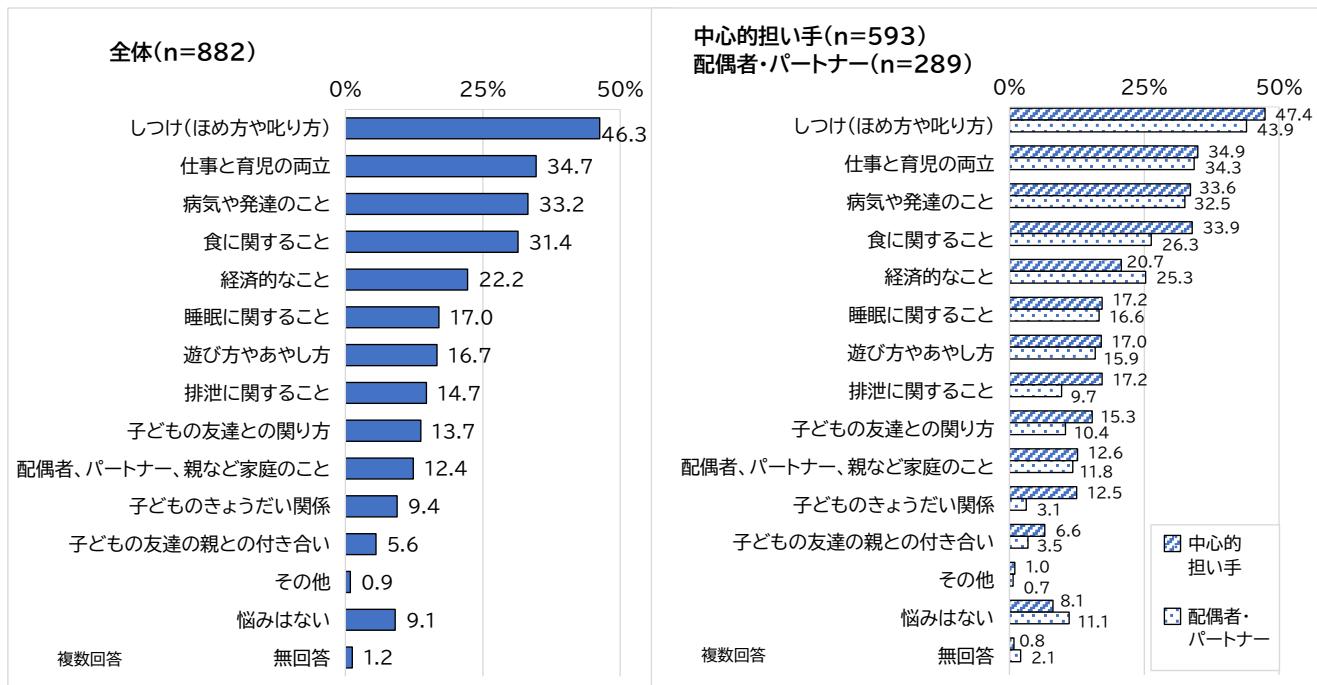
【令和元年度調査】



5 子育てに関する悩みについて

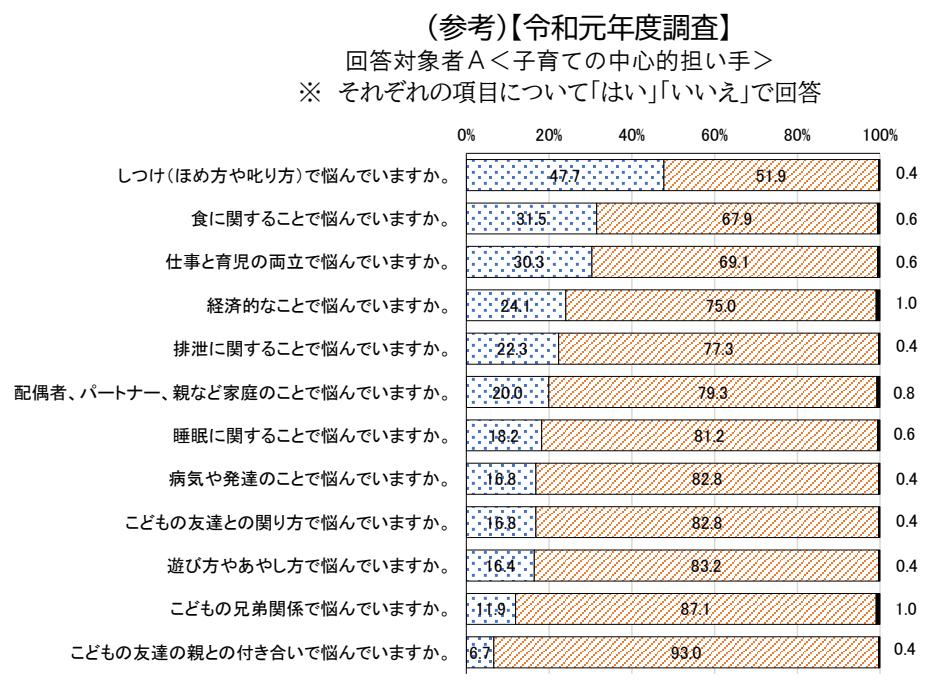
(1) 子育てで悩んでいることは何ですか。 (複数回答)

- 全体では、「しつけ（ほめ方や叱り方）」が46.3%で最も高く、次いで「仕事と育児の両立」34.7%、「病気や発達のこと」33.2%、「食に関すること」31.4%の順
- AB回答者で比較すると、「子どものきょうだい関係」、「食に関すること」、「排泄に関すること」では、「中心的担い手」が「配偶者・パートナー」より5ポイント以上高い、また、「悩みはない」では、「配偶者・パートナー」が「中心的担い手」より3.0ポイント高くなっている



その他記述

子育てで悩んでいること	件数
服、温度湿度	1
保育園	1
学習	1
歯みがき	1
ぐせ	1
金銭的不安	1
子供の行事の多さ	1
お祝い事も含め、学校幼稚園の行事	1
計	7

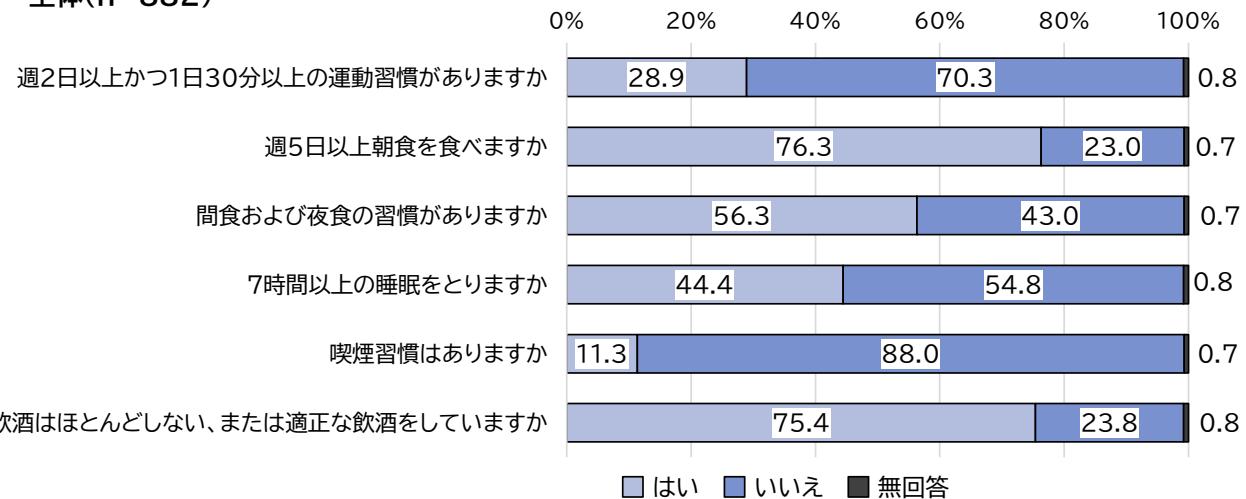


6 あなた自身の生活習慣や健康について

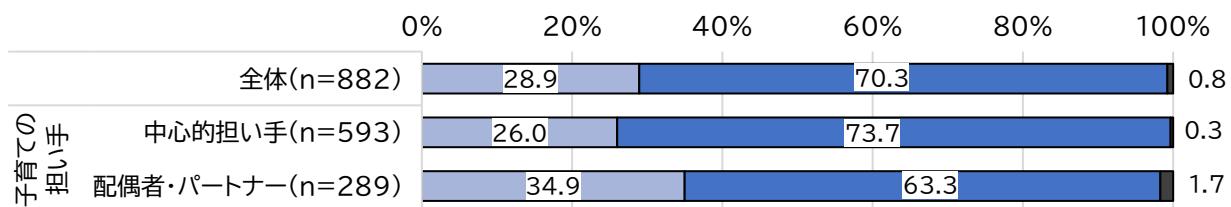
- (1) 週2日以上かつ1日30分以上の運動習慣がありますか。 (○はひとつ)
- (2) 週5日以上朝食を食べますか。 (○はひとつ)
- (3) 間食および夜食の習慣がありますか。 (○はひとつ)
- (4) 7時間以上の睡眠をとりますか。 (○はひとつ)
- (5) 喫煙習慣はありますか。 (○はひとつ)
- (6) 酒はほとんどしない、または適正な飲酒（週2～4日の休肝日があり1日ビール500ml以下の飲酒）をしていますか。 (○はひとつ)

- 全体では、9割弱が「喫煙習慣がない」、7割以上が「週5日以上朝食を食べる」、「適正な飲酒をしている」、「運動習慣がある」と回答している一方、5割以上が「間食および夜食の習慣がある」、「7時間以上の睡眠をとっていない」と回答
- A B回答者で比較すると、「運動習慣がある」、「喫煙習慣がある」では、「配偶者・パートナー」で「中心的担い手」より『はい』の割合が高くなっている一方、「週5日以上朝食を食べる」、「間食および夜食の習慣がある」、「適正な飲酒をしている」では、「中心的担い手」で「配偶者・パートナー」より『はい』の割合が高くなっている

全体(n=882)



(1) 週2日以上かつ1日30分以上の運動習慣がありますか



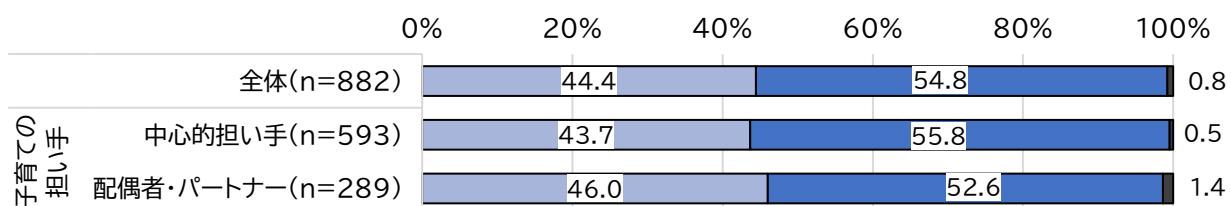
(2) 週5日以上朝食を食べますか



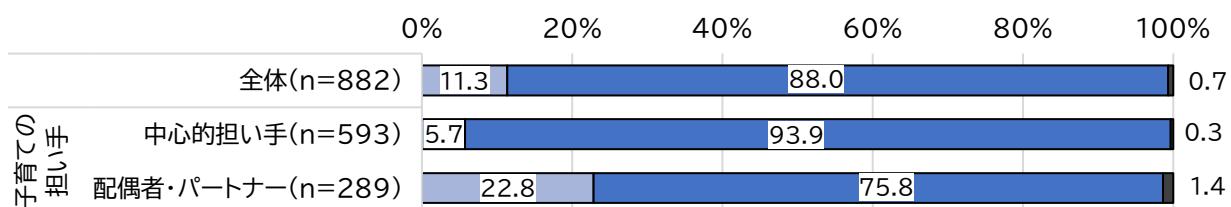
(3) 間食および夜食の習慣がありますか



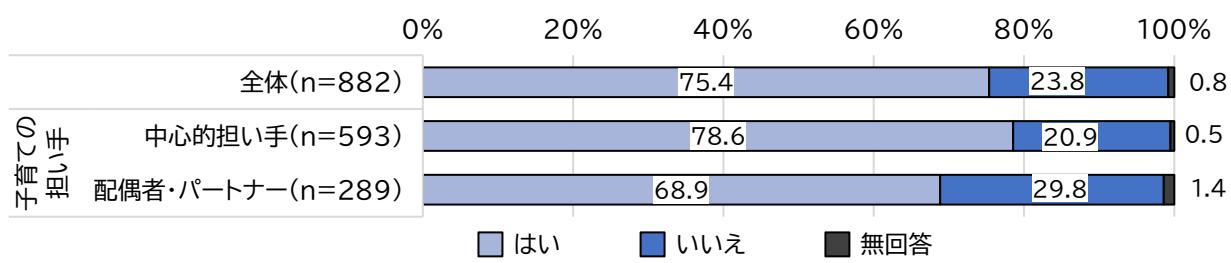
(4) 7時間以上の睡眠をとりますか



(5) 喫煙習慣はありますか



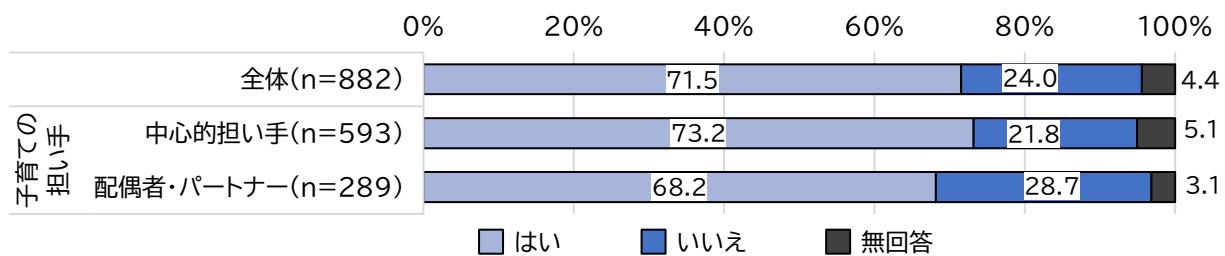
(6) 飲酒はほとんどしない、または適正な飲酒をしていますか



(7) BMI（体格を示す指標）が18.5以上から25未満ですか。 (○はひとつ)

- 全体では、「はい」が71.5%、「いいえ」が24.0%
- AB回答者で比較すると、「配偶者・パートナー」で「中心的担い手」より「いいえ」の割合が5ポイント以上高い

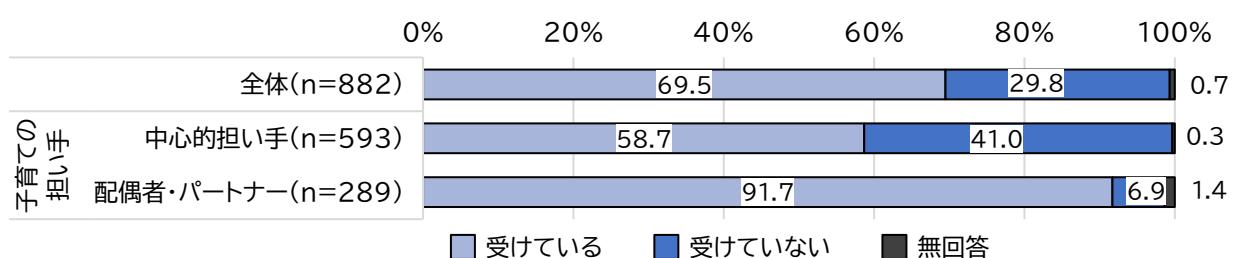
(7) BMIが18.5以上から25未満ですか



(8) あなたは過去1年間に健康診断は受けていますか。 (○はひとつ)

- 全体では、「受けている」が69.5%、「受けていない」が29.8%
- AB回答者で比較すると、「配偶者・パートナー」で「中心的担い手」より「受けている」の割合が30ポイント以上高く、「中心的担い手」で「配偶者・パートナー」より「受けていない」の割合が30ポイント以上高くなっている

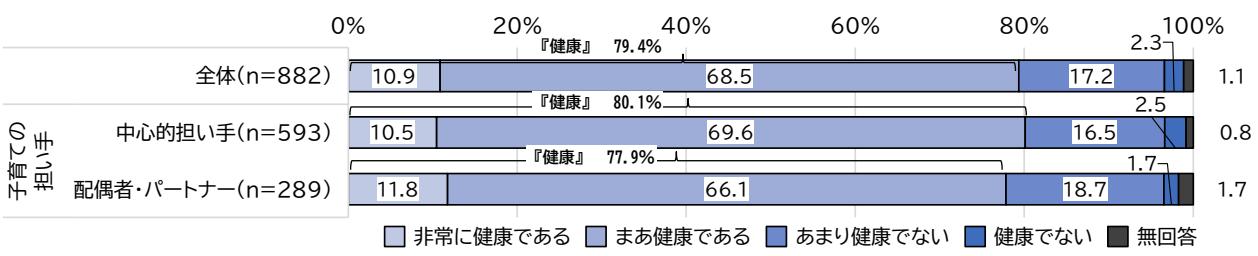
(8) 過去1年間に健康診断は受けていますか



(9) 普段、自分を健康だと思いますか。 (○はひとつ)

- 全体では、「まあ健康である」が68.5%、約8割が『健康』（「非常に健康である」+「まあ健康である」）と回答
- AB回答者で比較すると、『健康』の割合は、「中心的担い手」で80.1%、「配偶者・パートナー」で77.9%

(9) 普段、自分を健康だと思いますか

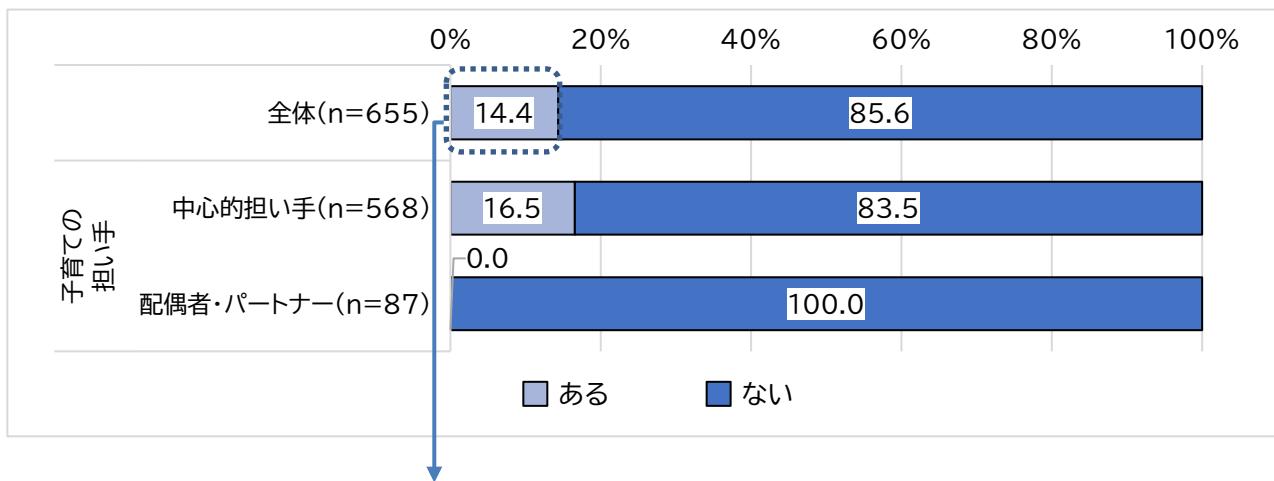


7 あなたの妊娠中のことについて

(1) 妊娠中診断を受けた病気はありますか。 (○はひとつ)

(女性の方のみお答えください)

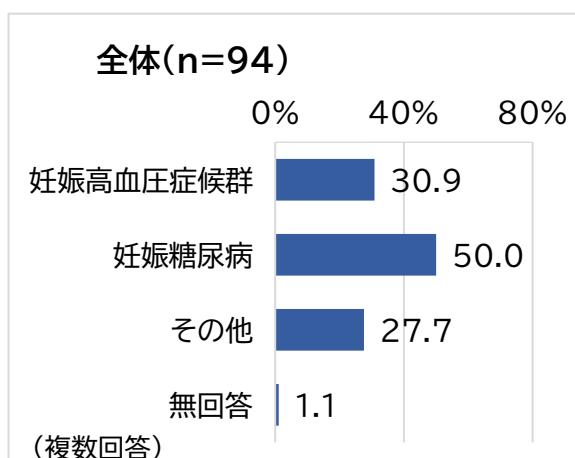
- 全体では、「ある」が14.4%、「ない」が85.6%
- AB回答者で比較すると、「中心的担い手」では、「ある」が16.5%、「ない」が83.5%となっている



(1) 妊娠中診断を受けた病気が「ある」と回答された方

(2) 診断名を教えてください。 (複数回答)

- 「中心的担い手」で「ある」と回答した方の診断名は「妊娠糖尿病」が50.0%、「妊娠高血圧症候群」が30.9%、「その他」が27.7%

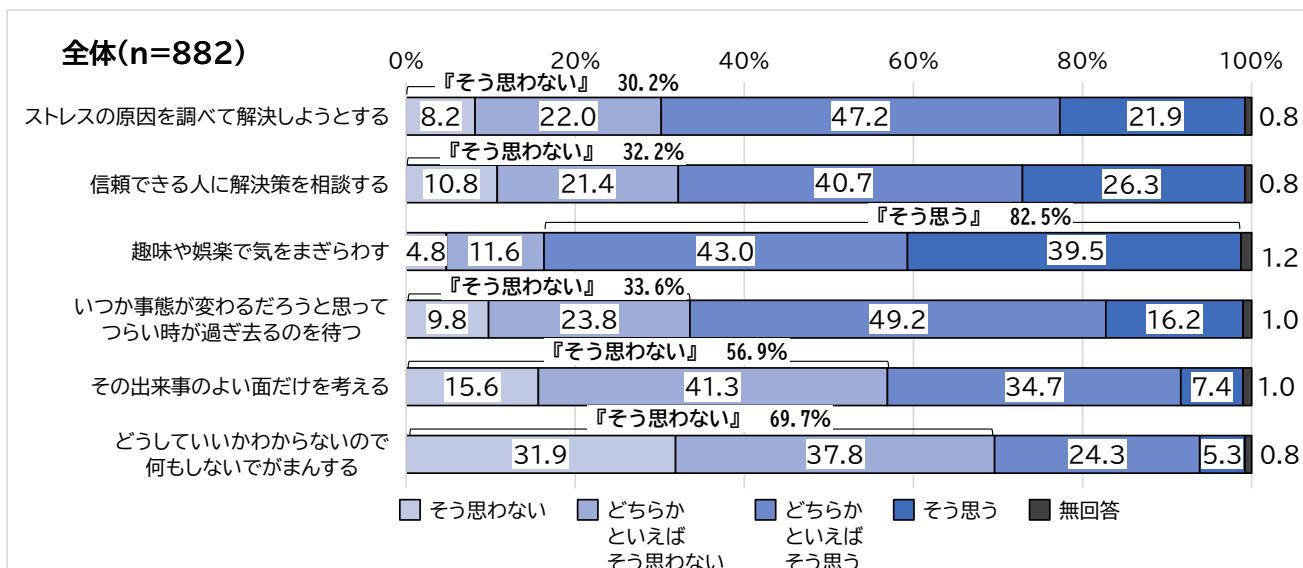


8 あなた自身のストレス対処法について

気持ちが落ち込んだときの行動や考えについて（各問の当てはまるもの○はひとつずつ）

- (1) ストレスの原因を調べて解決しようとする
- (2) 信頼できる人に解決策を相談する
- (3) 趣味や娯楽で気をまぎらわす
- (4) いつか事態が変わるだろうと思ってつらい時が過ぎ去るのを待つ
- (5) その出来事のよい面だけを考える
- (6) どうしていいかわからないので何もしないでがまんする

- 全体では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』は、「どうしていいかわからないので何もしないでがまんする」が 69.7%で最も高く、次いで「その出来事のよい面だけを考える」が 56.9%である、一方、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、「趣味や娯楽で気をまぎらわす」が 82.5%で最も高くなっている
- A/B回答者で比較すると、「ストレスの原因を調べて解決しようとする」、「信頼できる人に解決策を相談する」「いつか事態が変わるだろうと思ってつらい時が過ぎ去るのを待つ」について、「中心的担い手」より「配偶者・パートナー」で『そう思わない』の割合が高くなっている



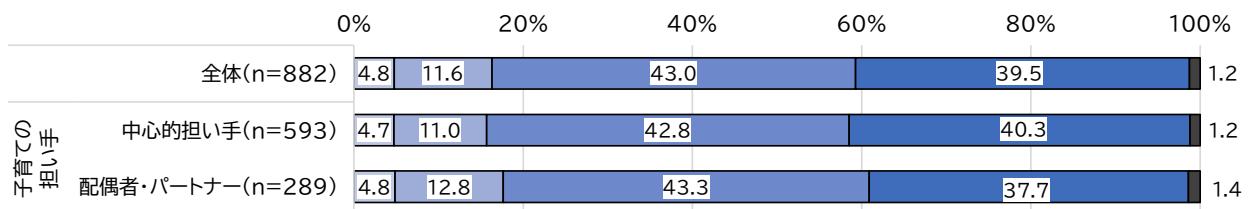
(1) ストレスの原因を調べて解決しようとする



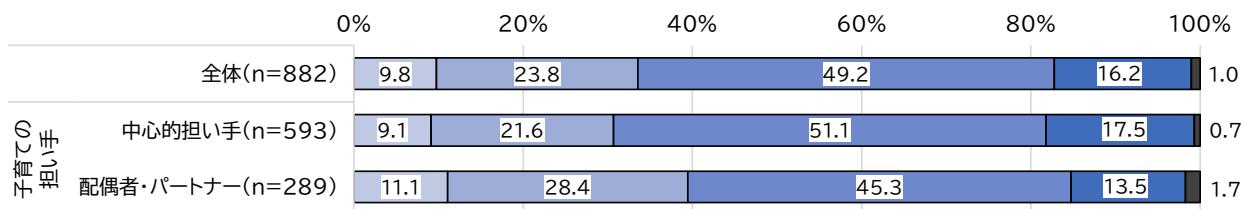
(2) 信頼できる人に解決策を相談する



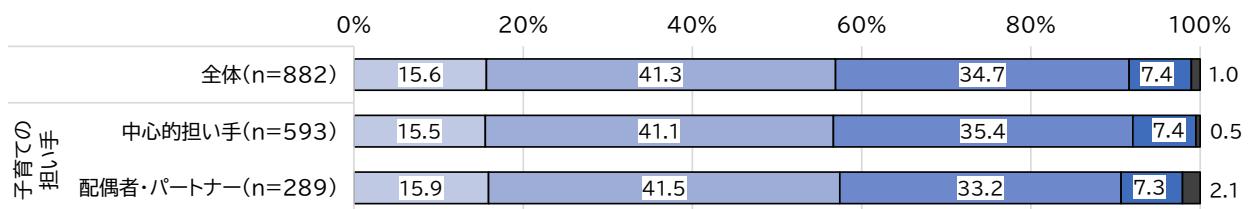
(3) 趣味や娯楽で気をまぎらわす



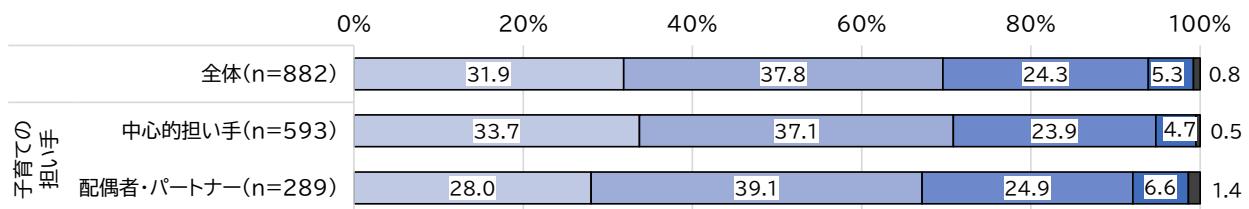
(4) いつか事態が変わるだろうと思ってつらい時が過ぎ去るのを待つ



(5) その出来事のよい面だけを考える



(6) どうしていいかわからないので何もしないでがまんする



□ そう思わない □ どちらかといえば
そう思わない □ どちらかといえば
そう思う □ そう思う ■ 無回答

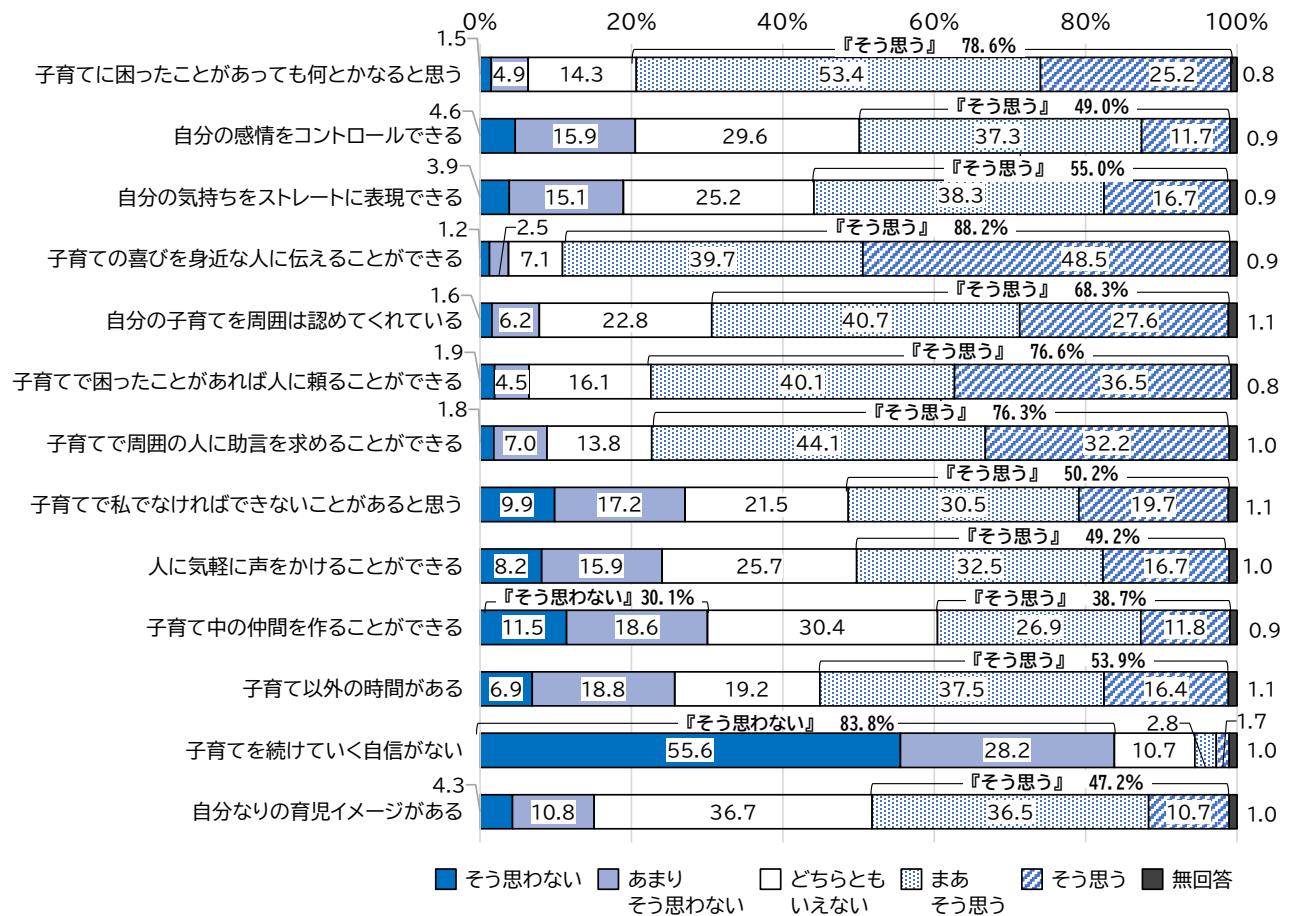
9 育児中のあなた自身について

各質問の当てはまる番号 1 つだけ〇をつけてください。

- (1) 子育てに困ったことがあっても何とかなると思う
- (2) 自分の感情をコントロールできる
- (3) 自分の気持ちをストレートに表現できる
- (4) 子育ての喜びを身近な人に伝えることができる
- (5) 自分の子育てを周囲は認めてくれている
- (6) 子育てで困ったことがあれば人に頼ることができる
- (7) 子育てで周囲の人に助言を求めることができる
- (8) 子育てで私でなければできないことがあると思う
- (9) 人に気軽に声をかけることができる
- (10) 子育て中の仲間を作ることができる
- (11) 子育て以外の時間がある
- (12) 子育てを続けていく自信がない
- (13) 自分なりの育児イメージがある

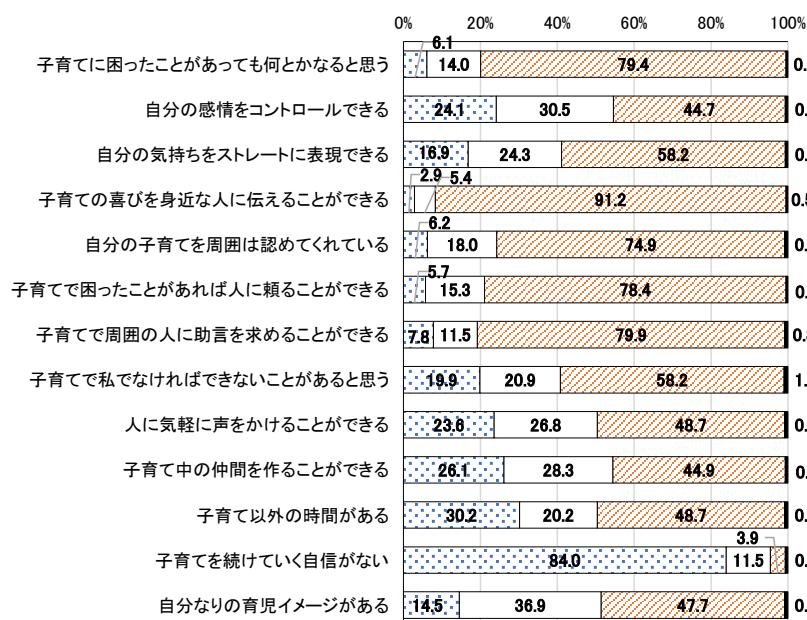
- 全体でみると、「そう思う」と「まあそう思う」を合わせた『そう思う』は、「子育ての喜びを身近な人に伝えることができる」が 88.2%で最も高く、次いで「子育てに困ったことがあっても何とかなると思う」が 78.6%、「子育てで困ったことがあれば人に頼ることができる」(76.6%)、「子育てで周囲の人に助言を求めることができる」(76.3%) で 7 割を超えている
また、「子育てを続けていく自信がない」では 83.8%が『そう思わない』と回答している、一方、「子育て中の仲間を作ることができる」では、『そう思う』と『そう思わない』がそれぞれ 38.7%と 30.1%と拮抗している
- AB回答者で比較すると、「子育て以外の時間がある」、「自分の感情をコントロールできる」では、「中心的担い手」より「配偶者・パートナー」の方が『そう思う』の割合が、10 ポイント以上高くなっている一方、「子育てで私でなければできないことがあると思う」、「自分の子育てを周囲は認めてくれている」、「子育て中の仲間を作ることができる」では、「配偶者・パートナー」より「中心的担い手」の方が『そう思う』の割合が、20 ポイント以上高くなっている
- 「中心的担い手」について、令和元年度調査と比較すると、『そう思う』の割合は、「子育て以外の時間がある」では 9.8 ポイント増加し、「人に気軽に声をかけることができる」では 6.1 ポイント減少している

全体(n=882)



【令和6年度調査】

回答対象者A <子育ての中心的担い手>

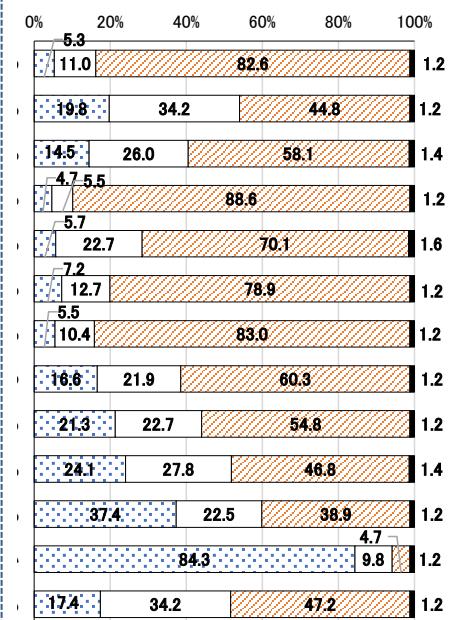


n=593

■ そう思わない+まあそう思わない
 □ どちらともいえない
 ▨ まあ
 ▨ そう思う+まあそう思わない
 ■ 無回答

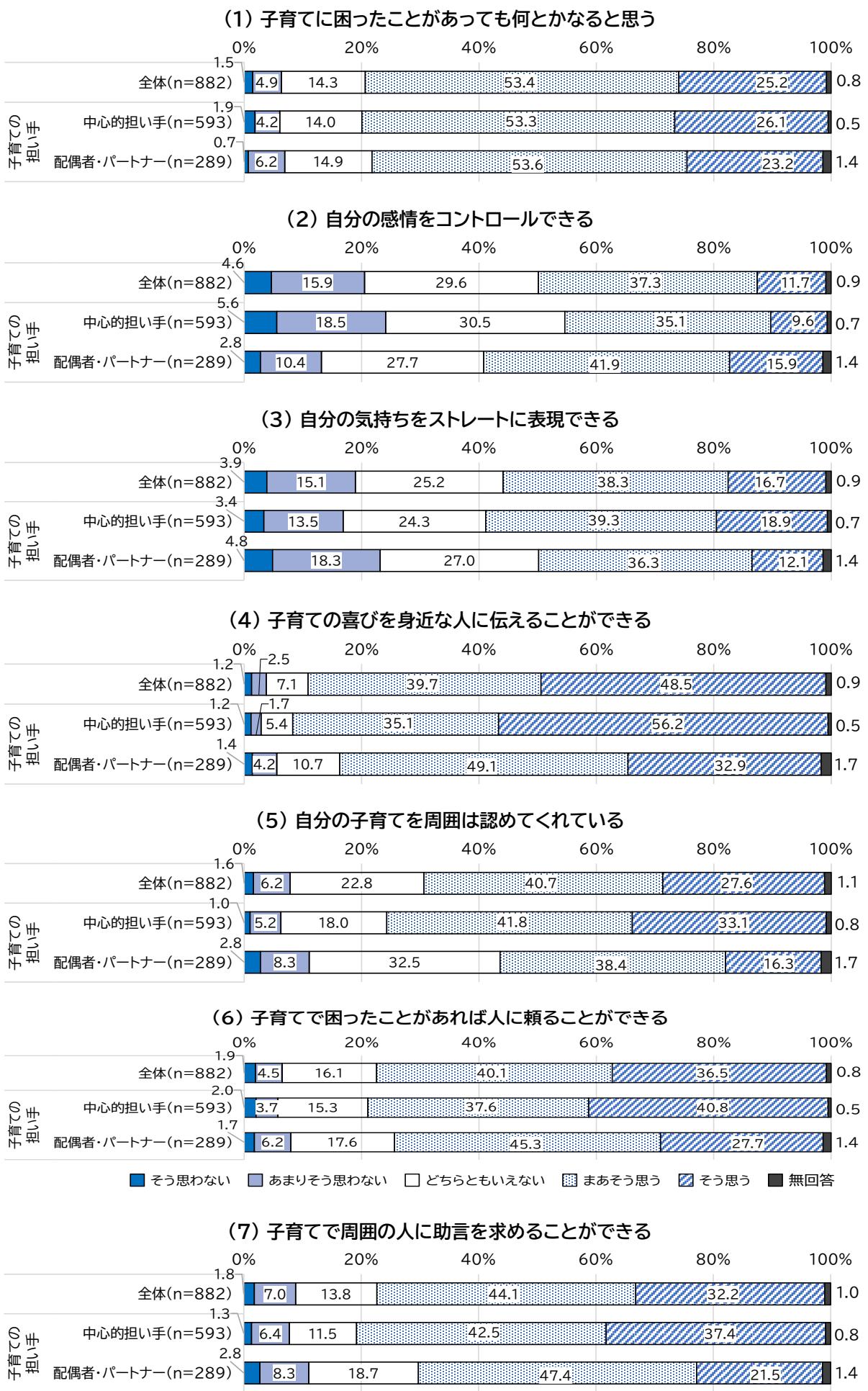
【令和元年度調査】

回答対象者A <子育ての中心的担い手>

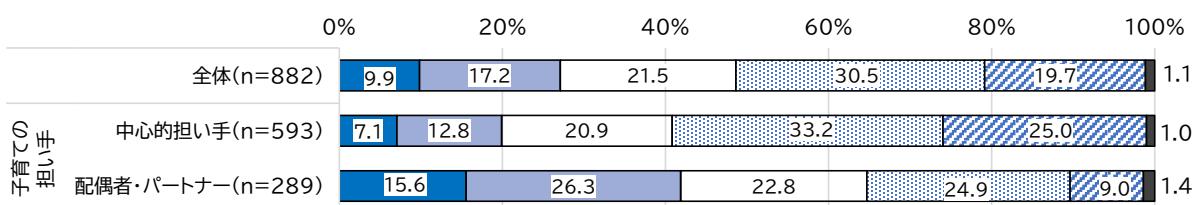


n=511

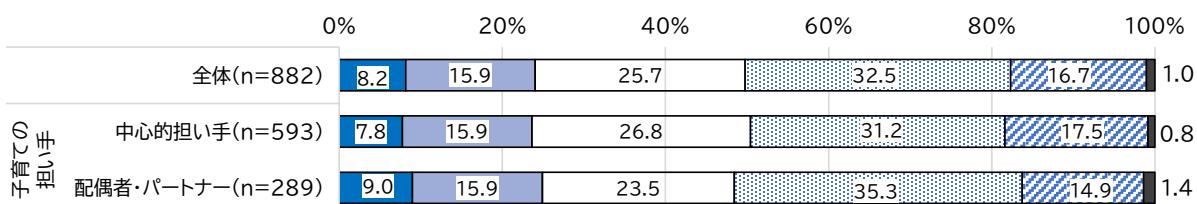
■ そう思わない+まあそう思わない
 □ どちらともいえない
 ▨ まあ
 ▨ そう思う+まあそう思わない
 ■ 無回答



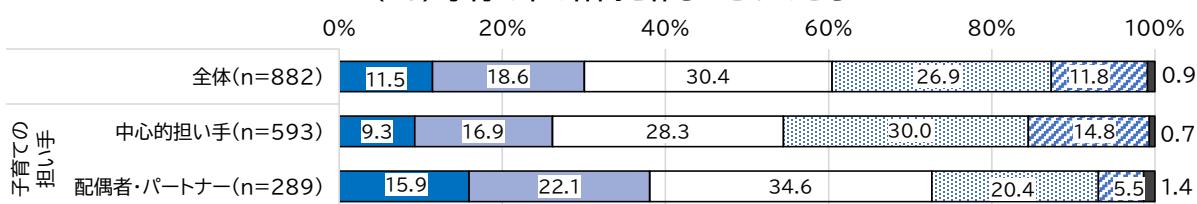
(8) 子育てで私でなければできないことがあると思う



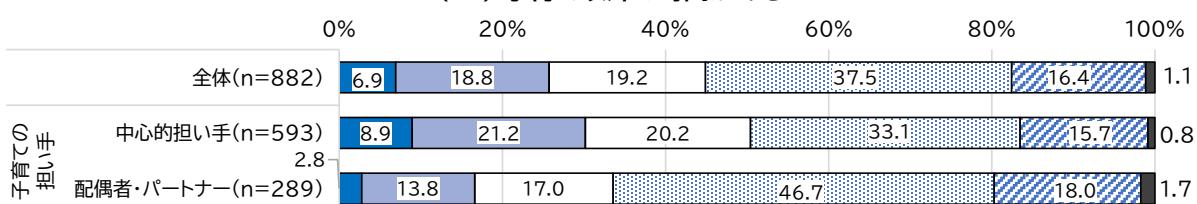
(9) 人に気軽に声をかけることができる



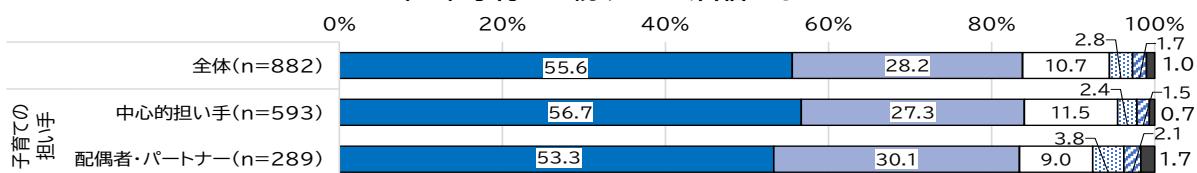
(10) 子育て中の仲間を作ることができる



(11) 子育て以外の時間がある

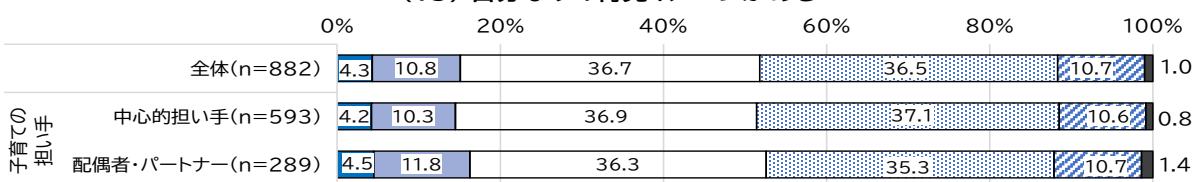


(12) 子育てを続けていく自信がない



■ そう思わない ■ あまりそう思わない ■ どちらともいえない ■ まあそう思う ■ そう思う ■ 無回答

(13) 自分なりの育児イメージがある



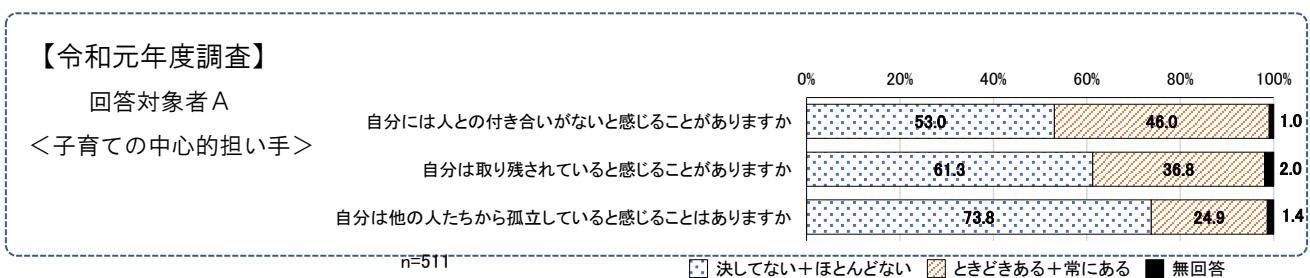
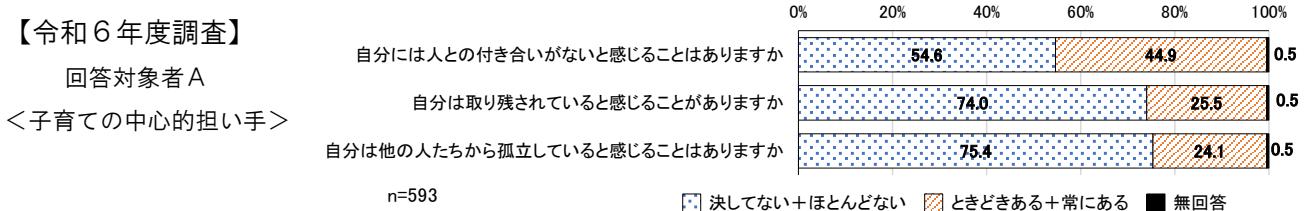
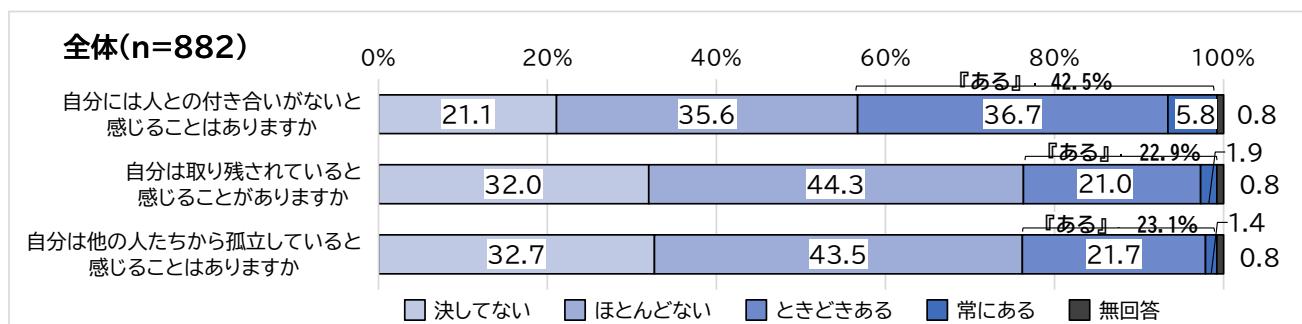
■ そう思わない ■ あまりそう思わない ■ どちらともいえない ■ まあそう思う ■ そう思う ■ 無回答

10 あなたの人付き合いについて

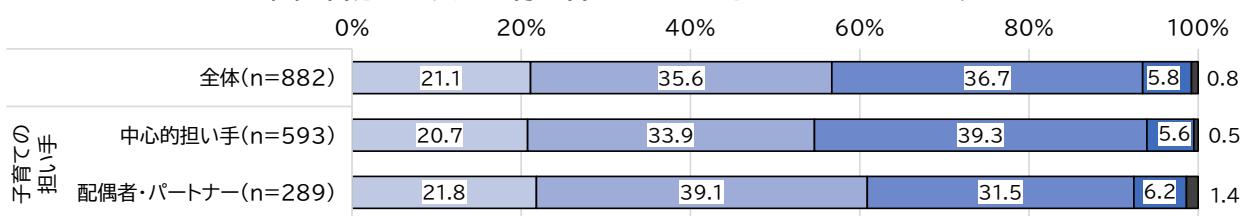
各質問の当てはまる番号1つだけ○をつけてください。

- (1) 自分には人との付き合いがないと感じることはありますか
- (2) 自分は取り残されていると感じことがありますか
- (3) 自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか

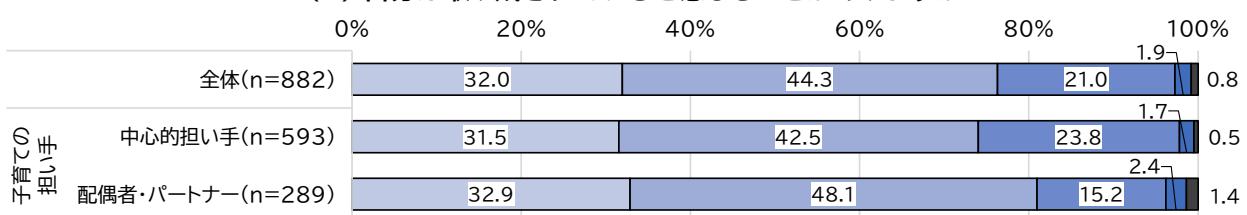
- 全体でみると、「常にある」と「ときどきある」を合わせた『ある』と感じることが最も多いのは、「自分には人との付き合いがない」42.5%、次いで「自分が取り残されている」22.9%、「自分は他の人たちから孤立している」23.1%となっている
- AB回答者で比較すると、「自分には人との付き合いがない」、「自分が取り残されている」と感じることが『ある』では、「中心的担い手」の方が「配偶者・パートナー」より『ある』の割合がそれぞれ7.2ポイント、7.9ポイント高くなっている
- 「中心的担い手」について、令和元年度調査と比較すると、「自分は取り残されていると感じことがありますか」では、『ある』の割合が11.3ポイント減少している



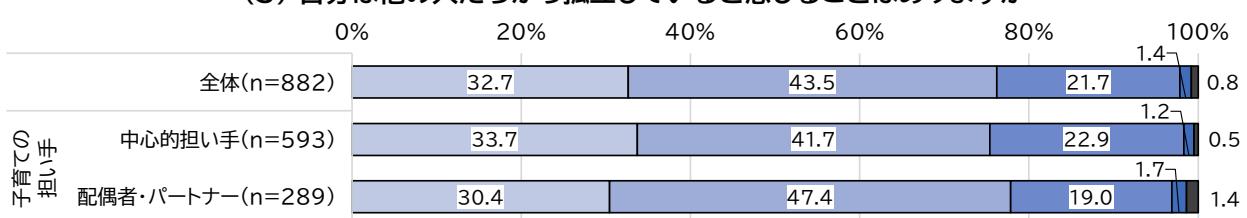
(1) 自分には人との付き合いがないと感じることはありますか



(2) 自分は取り残されていると感じることがありますか



(3) 自分は他の人たちから孤立していると感じることはありますか



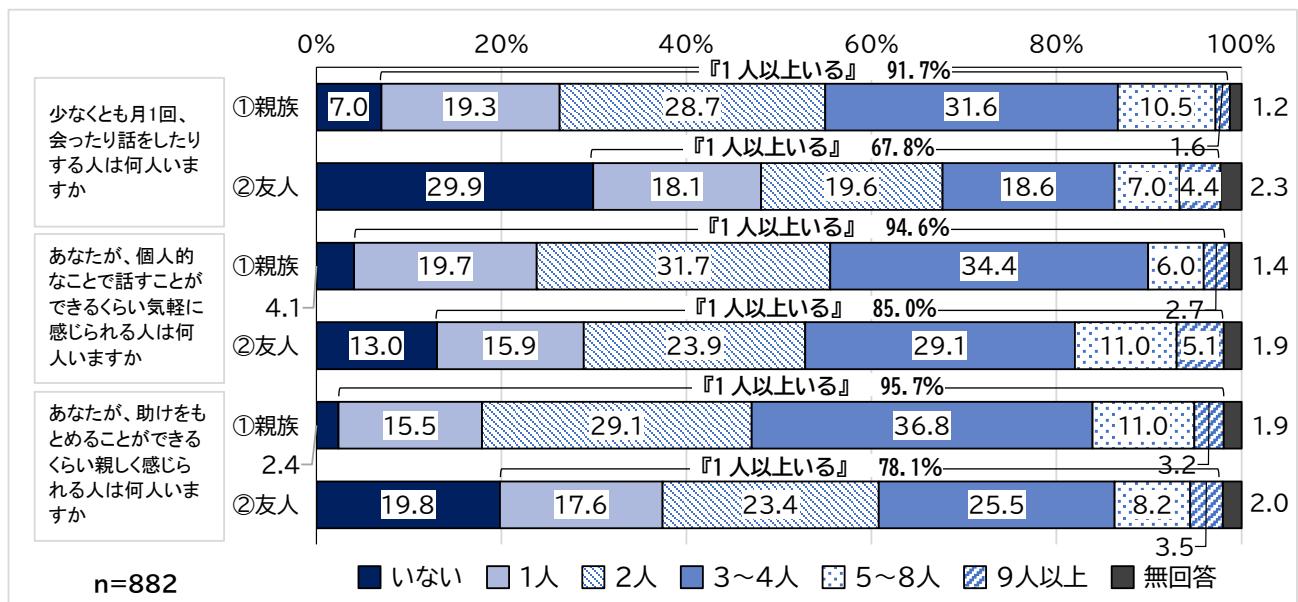
■ 決してない ■ ほとんどない ■ ときどきある ■ 常にある ■ 無回答

11 あなたの周りの方々との関係について

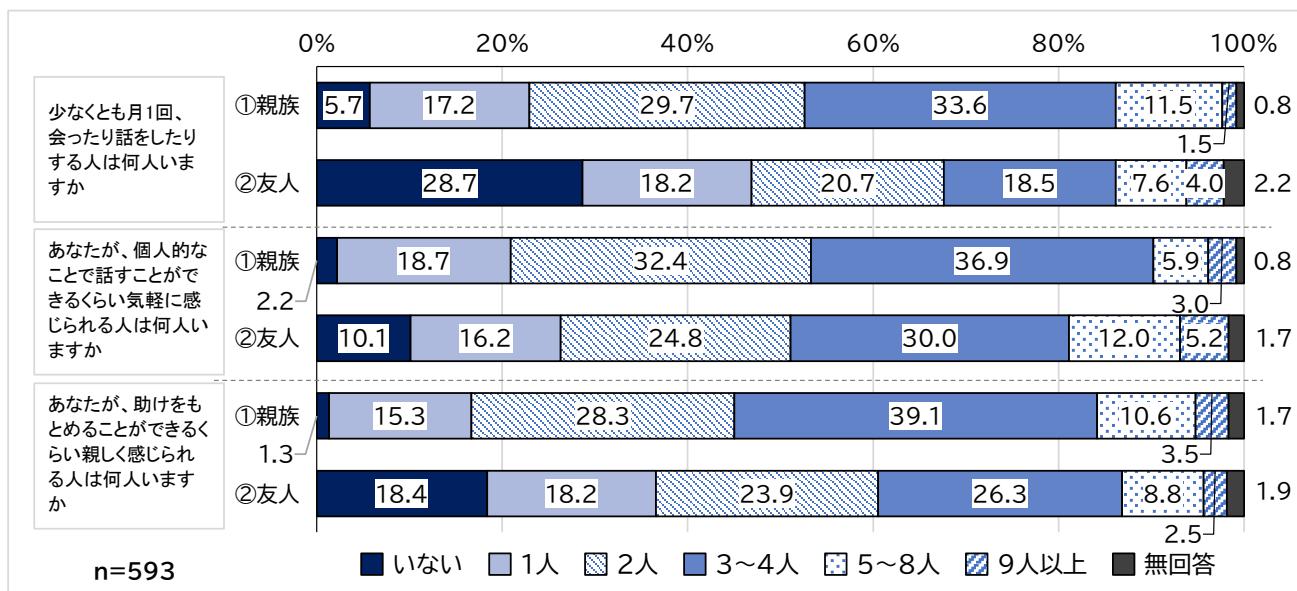
下記①②の方々との関係について、各項目のあてはまる番号1つだけ〇をつけてください。

- (1) 少なくとも月1回、会ったり話したりする人は何人いますか
 - (2) あなたが、個人的なことで話すことができるくらい気軽に感じられる人は何人いますか
 - (3) あなたが、助けをもとめることができるくらい親しく感じられる人は何人いますか
- ① 親族(自分の親やきょうだい、配偶者・パートナーの親やきょうだい等)
- ② 友人(子ども時代の友人、学生時代の友人、仕事や趣味を通じての友人等)

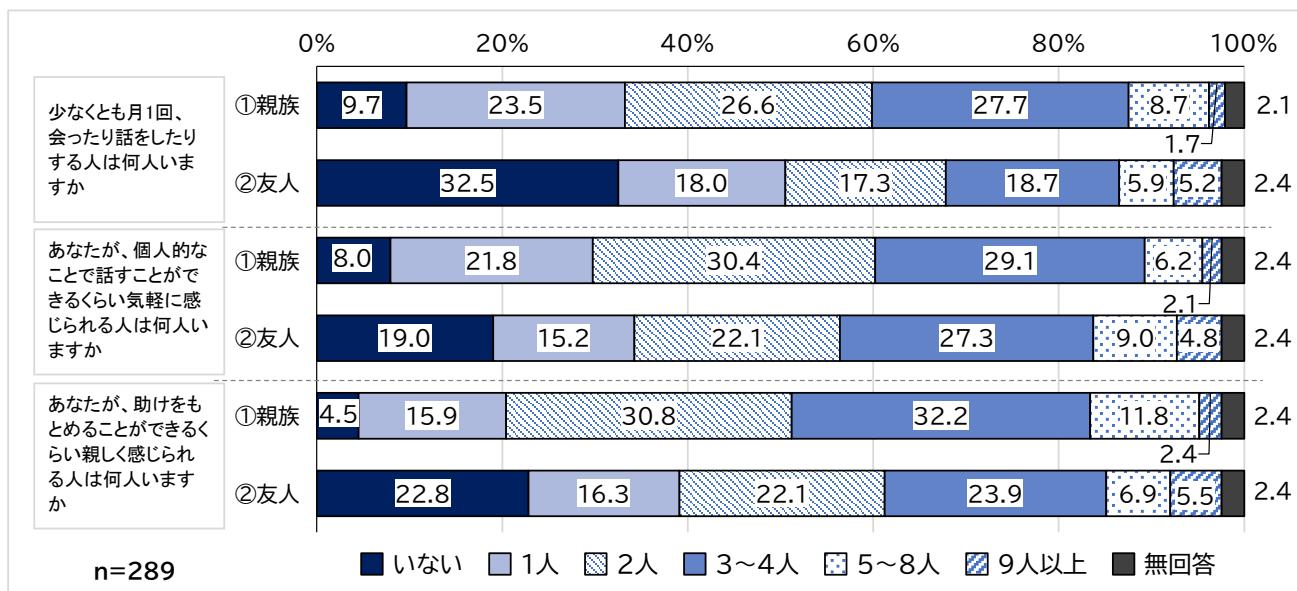
- 全体でみると、「少なくとも月1回、会ったり話したりする人」、「個人的なことで話すことができるくらい気軽に感じられる人」、「助けをもとめることができるくらい親しく感じられる人」のいずれも、「友人」よりも「親族」の方が、「1人以上」いる割合が多く、「親族」では91.7%、94.6%、95.7%と9割以上が「1人以上」いると回答している
また、「友人」について、「少なくとも月1回、会ったり話したりする人」で「いない」が約3割と他より高くなっている
- 「少なくとも月1回、会ったり話したりする人」、「個人的なことで話すことができるくらい気軽に感じられる人」、「助けをもとめることができるくらい親しく感じられる人」の関係の中では、「1人以上いる」割合は、「親族」では「助けをもとめることができるくらい親しく感じられる人」が最も多く95.7%、「友人」では「個人的なことで話すことができるくらい気軽に感じられる人」が最も多く85.0%となっている
- 令和元年度調査と比較すると、大きな差はみられなかった



<子育ての中心的担い手>

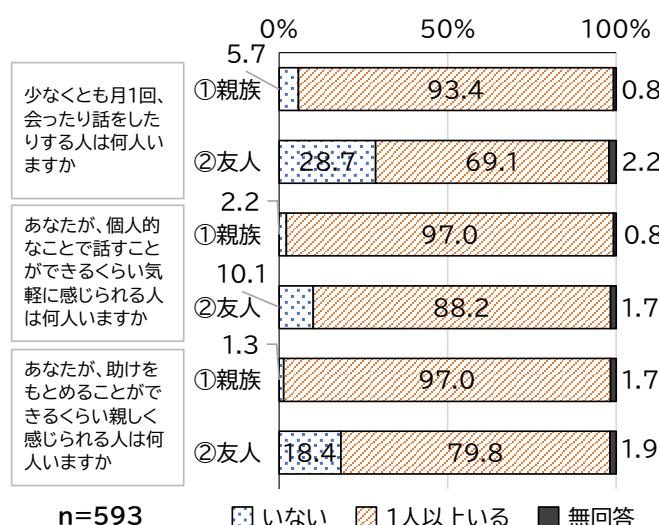


<配偶者・パートナー>

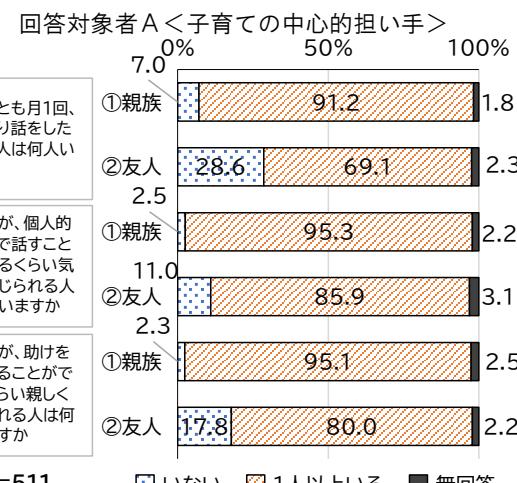


【令和6年度調査】

回答対象者A <子育ての中心的担い手>



【令和元年度調査】



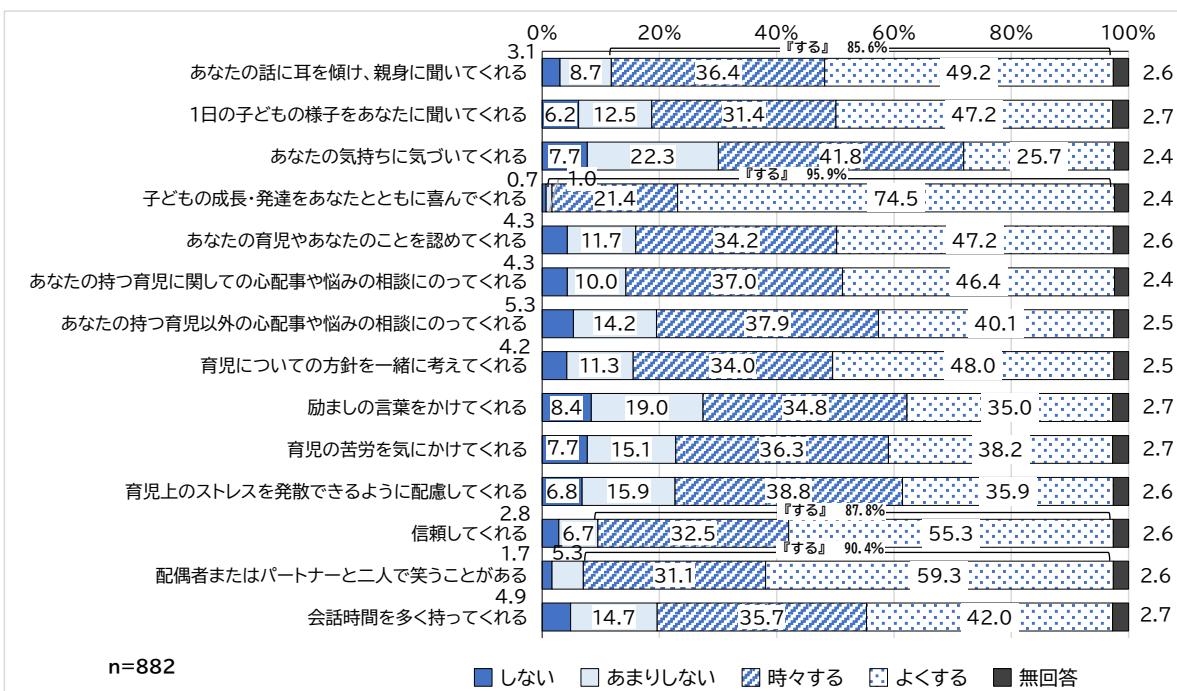
12 配偶者またはパートナーとのコミュニケーションについて

各質問の当てはまる番号1つだけ○をつけてください。

ひとり親の方は、この質問は飛ばして、次へお進みください。

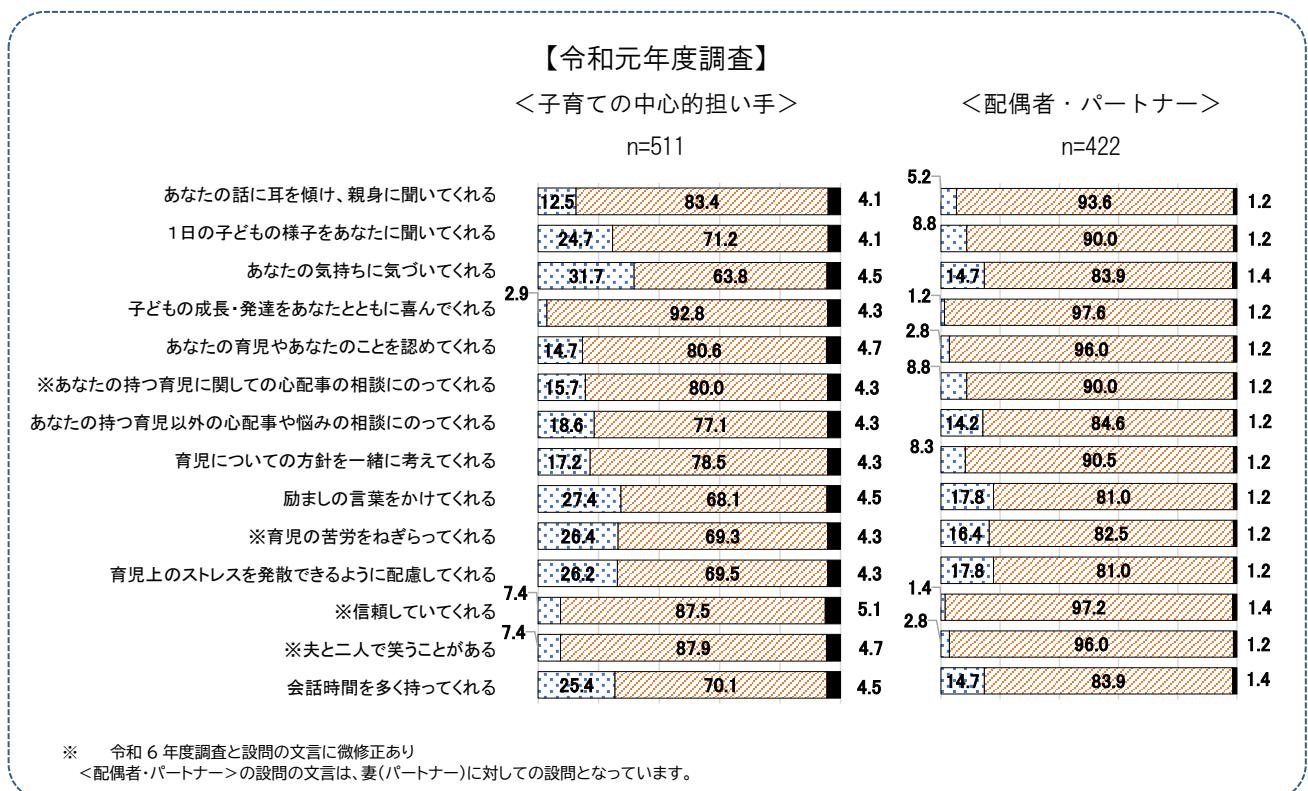
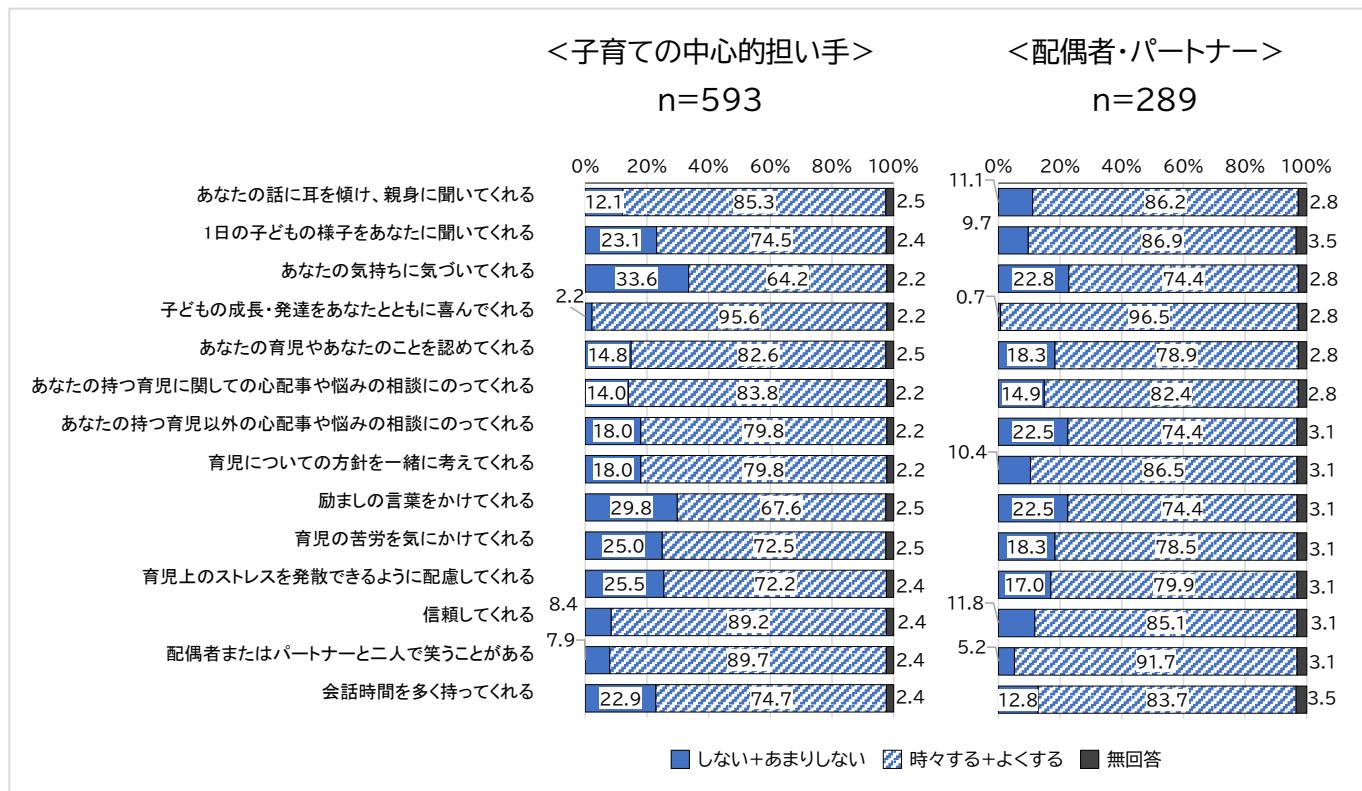
- (1) あなたの話に耳を傾け、親身に聞いてくれる
- (2) 1日の子どもの様子をあなたに聞いてくれる
- (3) あなたの気持ちに気づいてくれる
- (4) 子どもの成長・発達をあなたとともに喜んでくれる
- (5) あなたの育児やあなたのことを見てくれれる
- (6) あなたの持つ育児に関する心配事や悩みの相談にのってくれる
- (7) あなたの持つ育児以外の心配事や悩みの相談にのってくれる
- (8) 育児についての方針を一緒に考えてくれる
- (9) 励ましの言葉をかけてくれる
- (10) 育児の苦労を気にかけてくれる
- (11) 育児上のストレスを発散できるように配慮してくれる
- (12) 信頼してくれる
- (13) 配偶者またはパートナーと二人で笑うことがある
- (14) 会話時間を多く持ってくれる

- 全体でみると、「よくする」と「時々する」を合わせた『する』で最も多いのは、「子どもの成長・発達をあなたとともに喜んでくれる」95.9%、次いで「配偶者またはパートナーと二人で笑うことがある」90.4%、「信頼してくれる」87.8%、「あなたの話に耳を傾け、親身に聞いてくれる」85.6%の順
- AB回答者で比較すると「1日の子どもの様子をあなたに聞いてくれる」、「あなたの気持ちに気づいてくれる」では、「中心的扱い手」の方が「配偶者・パートナー」より『する』の割合がそれぞれ10ポイント以上低くなっている
- 令和元年度調査と比較すると、「中心的扱い手」については、大きな差はないが、「配偶者・パートナー」については、「あなたの育児やあなたのことを見てくれれる」、「信頼してくれる」、「あなたの持つ育児以外の心配事や悩みの相談にのってくれる」では、『する』の割合が10ポイント以上減少している



n=882

■ しない □ あまりしない ▨ 時々する □ よくする ■ 無回答



IV. 調査票